

スコアカードの打数を入力して試合の順位を計算するアドイン方式のプログラムです。

※ 2 個のプログラムを収録しており、同梱の「XL_Z4_AR 全試合スコア集計」をインストールする必要があります。本プログラムからデータを取り込み「年間、月間、週間…」を手入力なしで集計するプログラムです。

XL_4R_グラウンドゴルフ集計 プログラム説明書

Version 14.01

(Excel 2021, 2016, 2013, 2010 に対応)

2026.01.18

By Tatsu

著作権： 著作権は本プログラムの作成者にあります。
配布・転載： プログラムの配布、転載等は一切お断りします。

目 次

1 この説明書の使用方法	- 1 -
(1) ペーパーレスで使用すると図や説明文の参照が簡単になります。	- 1 -
(2) Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法 :	- 2 -
(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。	- 2 -
(4) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。	- 2 -
(5) プログラムの使用にあたってのご注意	- 2 -
2 概要・特徴など	- 4 -
3 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール	- 12 -
(1) 配布用ファイルの説明	- 13 -
(2) インストール前の注意事項（重要）	- 15 -
(3) インストール	- 16 -
(4) アンインストール	- 17 -
(5) 新バージョンに更新する場合	- 17 -
(6) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方	- 18 -
4 「グラウンドゴルフ集計サンプル」の使用方法	- 20 -
(1) 本プログラム専用のグラウンドゴルフタブについて	- 20 -
(2) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る場合	- 20 -
(3) ユーザー用第 2 回目の競技以降の集計用ファイルを作る場合	- 23 -
(4) 年度更新をする場合	- 24 -
(5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む	- 24 -
(6) 「メンバー編集」シートの概要説明	- 25 -
(7) 「メンバー編集」シートで競技者順位を編集	- 25 -
(8) 「メンバー編集」グループスタートホール編集	- 27 -
(9) 「メンバー編集」グループ STH_氏名編集「大会用メンバー」の編集	- 29 -
(10) 「メンバー編集」グループ STH_氏名編集「中大会用メンバー」の編集	- 30 -
(11) 「メンバー編集」スタートホール番号記入	- 32 -
(12) 「メンバー編集」シートの取り込み	- 32 -
(13) 「メンバー編集」氏名の書き出し	- 32 -
(14) 「メンバー編集」メンバーシート書き出し	- 32 -
(15) 「メンバー編集」スコアカードへ転記	- 33 -
(16) 「毎回入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力	- 35 -
(17) 「毎回入力データ」「データ入力」コマンド ダイアログボックス説明	- 37 -
(18) 「毎回入力データ」ダイアログボックスのショートカットキー等の説明	- 38 -
(19) 「集計入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力	- 38 -
(20) 「集計入力データ」「データ入力」コマンド ダイアログボックス説明	- 39 -
(21) 行の挿入と削除	- 39 -

(22) 集計順位を計算して表示するには.....	- 40 -
(23) 「点数順集計表」シートに同順位が発生した場合	- 40 -
(24) 印刷	- 43 -
(25) Z4 全試合スコア集計	- 44 -
(26) 多人数による大会での集計方法.....	- 44 -
5 その他の機能について	- 48 -
(1) 新規開始／追加／変更	- 48 -
(2) 字幕と罫線引き	- 49 -
(3) No の記入.....	- 49 -
(4) No の列で昇順並べ替え	- 49 -
(5) 書式の設定式の再入力	- 49 -
(6) データ入力漏れチェック.....	- 50 -
(7) No 重複 空白調査	- 50 -
(8) 氏名の重複 空白調査	- 51 -
(9) エラーカラー消去	- 51 -
(10) 検索	- 51 -
6 その他このプログラムを使用する場合について	- 53 -
(1) 氏名の行を一行横に選択して分かり易く判別	- 53 -
(2) 印刷について	- 53 -
(3) 毎回入力データシートを使用しない場合	- 54 -
(4) 集計入力データシートを使用しない場合	- 54 -
7 トラブルが起きた場合	- 54 -
(1) 全試合スコア集計タブのコマンドがシートで切り替わらない。その他のトラブル ..	- 54 -
(2) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する	- 54 -
8 データベース化した本プログラムの使い方要約	- 56 -
(1) 新しい集計用ファイルを作る.....	- 56 -
(2) メンバーの試合順位構成する.....	- 56 -
(3) 「No」「GN」「Start Hole」「氏名」の取込.....	- 57 -
(4) 打数の入力と成績順位の集計.....	- 57 -
(5) XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム	- 57 -
9 バージョンの変更内容	- 58 -
(1) バージョンアップについての変更内容.....	- 58 -
10 拡張子の説明	- 64 -
(1) 拡張子について	- 64 -
(2) Windows10 の拡張子の表示方法：	- 64 -
(3) Windows11 の拡張子の表示方法：	- 64 -

1 この説明書の使用方法

(1) ペーパーレスで使用すると図や説明文の参照が簡単になります。

この説明書ではファイル種別を分かり易くするために「拡張子」を付けて説明しておりご利用者にも設定を推奨します。Word で使用する「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.docx」はファイルサイズが大きいいため作者のホームページでダウンロードして使用できるようにしていましたが都合で 2025 年 9 月末にホームページを廃止しました。以下で説明しているように Pdf 版は不都合な点があるため Word 版でのご使用をお勧めします。

説明書の「目次」や各章にある 青い文字（「」で囲まれた部分）をクリックすると、対応する図・表・説明へ移動できます。

例えば、最初にある青い文字「拡張子」をクリックすると、最後のページにある「拡張子について」にジャンプして参照できます。

Word でこの説明書を開いている場合は、青い文字の上にカーソルを置くと「Ctrl キーを押しながらクリックしてリンク先を表示」と表示されます。案内どおりに操作すると、参照先へ移動できます。離れた場所を参照したいときに便利です。

以下には「[\(2\)Word の「戻る」、「進む」ボタンを表示する方法](#)：」もあります。

Pdf 版の説明書「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.pdf」で「Acrobat Reader」使用の場合は「手」のマークを表示するのでそのままクリックするとリンク先の「図」にジャンプし、ショートカットキーの「Alt + ←」キーで戻り、進む場合は「Alt + →」キーを使用して内容を理解し易くなります。検索は「Ctrl + F」キーで開きます。

Word 版の本説明書は正確に動作しますが、Pdf 版を使用する「Acrobat Reader」の場合は、位置を少し外れるので非常に使いにくい点があります。特に「図」の場合で参照元と参照先が同一ページの場合「戻る」で正確に元の位置に戻れないような気がします。（Acrobat Reader Pro は分かりません）本説明書は Word で作成したものを Pdf に変換して作っていますが「相互参照」の「青色」の色が抜けて、総合参照が分かりにくい点があります。Word で Ctrl + A により文章全体を選択して Alt+F9 によりフィールドを更新する場合も参照もとの青色が抜ける昔からの Word のバグがあります。このため「検索」で「参照元」をすべて探し「青色」になるように直さなければなりません。

Edge で「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.docx」を開くと読むことは可能ですが、上記のショートカットキー「Alt + ←」または「Alt + →」などが使えません。

本説明書をペーパーレスで使用する場合、「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」と、この「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.docx」を同時に開き「[図 1 タスクバーを使用](#)」の図のように「Excel」と「Adobe Reader」をタスクバーで切り替えながらマルチタスクによる操作で「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を実践して本説明書を読むと理解し易くなります。



図 1 タスクバーを使用

(2) Word の「戻る」、「進む」 ボタンを表示する方法：

Word2021 の場合「図 2 Word の「戻る」、「進む」 ボタンの表示」図の、赤枠で囲っているようにクイックアクセスツールバーの中に「戻る」、「進む」 ボタンを作るにはクイックアクセスツールバーの右端にあるドロップダウンをクリックして＜その他のコマンド(M)＞－ Word の「オプション」ダイアログボックスを開き「クイックアクセスツールバーをカスタマイズします」の下にある「コマンドの選択(C)」リストボタンで＜すべてのコマンド＞－「戻る」 ボタンをクリック－＜追加(A)＞を押します。同様に「進む」 ボタンをクリック－＜追加(A)＞－＜OK＞を押します。(たくさん記号があるので根気よく「戻る」と「進む」を探す必要があります)

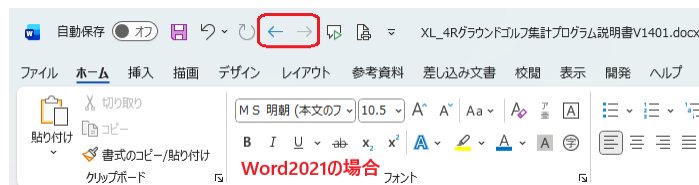


図 2 Word の「戻る」、「進む」 ボタンの表示

(3) 図の文字が小さくて読めない場合は次のようにしてください。

Word の場合は「表示」タブの「ズーム」をクリックし「指定(E)」に適当な数字を入力して見易くしてください。拡大していくと単一ページでも表示できます。

「Acrobat Reader」では＜メニュー＞－＜表示＞－＜ズーム＞で倍率指定をします。

＜表示＞－＜ページを表示＞－＜単一ページ表示＞で 1 ページだけ表示できます。

(4) この説明書の文字を検索する場合は次のようになります。

＜ホーム＞タブ－＜編集＞グループ－＜検索＞リストをクリック－＜高度な検索(A)＞をクリックし－「オプション(M)」ボタンで「あいまい検索」のチェックを外します。

「検索する文字列(N)」ボックスに検索文字を入力して説明場所を探す方法が便利です。

(「あいまい検索」のチェックボックスは OFF の方が探し易いので何時も OFF で探しています。)

(5) プログラムの使用にあたってのご注意

フリーソフトですが、著作権は放棄していません。プログラム、説明書、関連するものを別のすべての媒体へ複製または、頒布、転載などのすべてを禁じます。

このソフトの使用による直接的、間接的なあらゆる損害の免責を、承諾の上でご使用ください。

Excel のすべてのバージョンや使用機器で完全な動作確認をしているものではありません。このアプリのダウンロードは安全なベクター(Vector) から「グラウンドゴルフ集計プログラム(Excel 版)」をダウンロードしてご使用ください。

競技者に電子メール等で配布する場合で、試合のデータファイル(「拡張子」が

「*.xlsx」) については構いませんが、次のようなアドインプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg.xlam」や「GG_同好会メンバー2014 年度.xlsm」、「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」、「全試合 Z4 スコア集計インストール・アンインストール.xlsm」、「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm」などはプログラム含んでおり、ウィルス等の問題が起きても困るので配布はご遠慮ください。

(開発や動作試験の確認については配布ファイル Readme.txt に記載したとおりです)

このサンプルで使用する人名等はすべて架空のものです。

2 概要・特徴など

- 1) 添付の「XL_4R_Ggolf1401.zip」を解凍すると「XL_4R_G ゴルフ 14.01」ができ、その中には競技集計用のフォルダ「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」と週に数回試合をする同好会などの競技で年間集計用として使用するための「XL_Z4 全試合スコア集計 PG」の2種類のプログラムを一緒にして配布しております。大会などだけに使用する場合で、後出しのプログラムが必要ない場合は使わなくても構いません。これらのプログラムはインストーラーと説明書がそれぞれのフォルダ内に分けて格納しています。「[図 8 配布ファイルの内容](#)」の図を参考にまず本書からご覧ください。

- 2) グラウンドゴルフ同好会で掲載することや競技会などで素早く計算して成績結果を掲載すると大勢で盛り上がり楽しさも一層向上することは言うまでもありません。

本プログラムはExcel アドインプログラム方式です。簡単に説明しますとユーザー用データを集計するための「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」（これはサンプル）があります。このファイルはマクロを含まない単なる試合データです。専用のダイアログなどを使用して集計をし易くするためのアドインプログラムがバックで操作しています。

日付ごとの試合データを1個のプログラムで共通に使用でき「[図 18 グラウンドゴルフタブ](#)」のようにいろいろの試合の準備や集計ができるように使い易くしております。

「[図 5 競技大会の集計状況](#)」の図は「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」について「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」を使用して集計をしています。

このダイアログでの入力にはスコアカードを見て1ラウンドの打数「3243」「2323」のように8回の打数を2回で入力でき、「32432323」と入力すれば1回で各セル内に入力できます。つまりホールごとの打数にEnterキーを入力しなくても個別のホールのセル内に分けて入力できるので入力が早く簡単にできるのです。（通常なら1打ごとにEnterする必要がありますが不要です。難しいコースで打数が2桁になった場合は「2桁入力」ボタンがあるのでご心配には及びません。そんな・・・全打数入力なんて大変！メンドクサイなんてことは間違いです。トータルだけを入力する「集計入力データ」シートも用意してありますが殆んど時間は変わりません。）

経験上からスコアカードには集計間違いが数多く発生しており全打数を入力するこの方法はスコアカードの間違いを検証するための係員も不要です。間違いがある場合集計中に「合計」を照合しただけで「あ、合計が違う」と必然的に気づくのでスコアカードのどのホールで違いがあるか調べて「スコアカード」を赤色ペンで修正します。

この入力方法は以下の項「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」でも簡単に説明しております。

- 3) 同好会などで毎回試合のメンバーの組み合わせの編集では、試合の集計の度に氏名などを手で打ち込むことなく「メンバー編集」シートから氏名、グループ番号、スタートホールの順番からNoまで取込むなど数多くの機能を備え時間の掛かる手作業を省きます。
- 4) アドインプログラムはインストーラー「グラウンドゴルフインストール・アンインストール

ール.xlsm」を使用してプログラムをExcelに認識させることで初めて専用の「グラウンドゴルフ」タブやダイアログボックスが表示し、集計が可能になります。重要なのはセキュリティの関係があり「3 (2)インストール前の注意事項 (重要)」を事前に実行しないとインストールできないのでご注意ください。

- 5) インストールが済んだ場合、データシートへ直接入力も可能ですが「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の「毎回入力データ」シートで氏名の上を右クリックすると「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」を表示します。（「3 (2)インストール前の注意事項 (重要)」や「3 (3)インストール」の項を実行するのは説明を読み進むまで我慢し各項の説明を順次進みフォルダ構成方法などを熟知した後試してください）説明を読むのは面倒だと言う場合はこのプログラムを使うのは無理があります。

- 6) 各グループが競技をするスタートホールはグループ (GN) ごとに違うため、氏名の表示と同時に図の赤い矢印方向の「5」のようにスタートホールの番号をスコアカードに合わせて先頭に自動表示するためデータ入力がとても簡単で早くなります。

図では5番ホールからスタートした例になります。（シート上からスタートホールを読み込んで

「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」のように5番ホールがすぐ入力できるのです。スタートホールは図の赤枠のスピンドットで入力することもできるし、ホール番号をダブルクリックするだけでホール番号が先頭に表示します。

	5	6	7	8	1	2	3	4	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R	2	3	4	2	2	2	2	3	20		5	2	20	<input type="checkbox"/>
2R	3	4	3	3	2	2	2	3	22		3	4	22	<input type="checkbox"/>
3R	5	2	3	3	2	3	2	3	23		3	4	23	<input type="checkbox"/>
4R	4	2	2	4	3	3	3	3	24		2	4	24	<input type="checkbox"/>
Total									89		13	14	89	

図 3 データ入力ダイアログボックス

- 7) グラウンドゴルフでは、1ホール当たりの打数は、よほど難しいコース以外は1桁です。打数を入力する時は、「Enter」キーを押す必要がありません。この図の例で打数を入力する場合、5～8ホールの入力は、細線赤色枠囲い①のように「2342」、1～4ホールは②の「2223」と入力すると2回の入力で済み、ごく簡単に入力できます。記憶力が良ければ「23422223」と8桁を1度で入力しても構いません。難しいコースで2桁の打数を入力する場合は「2桁入力」ボタンを押して入力することができます。

- 8) 入力が済んだ場合は、グラウンドゴルフタブの＜集計＞をクリックすると即時に「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別のホールインワン順」などのシートに即時に集計して表示します。

プレーは4ラウンドまで対応しており4ラウンド以下なら何ラウンドでも集計ができます。詳しい説明は「4 (16)「毎回入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力」の項で説明しています。

- 9) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いてグラウンドゴルフの打数を入力する方法には次のA)、B)の二種類の方法がありますが、「A)」項の方は上記「6)」項

で少し説明しましたが作者としては「A)」項の方をお勧めとしたいと思います。

A) 「毎回入力データ」シートへ入力する場合。

各ラウンド、各ホールの打数をすべて入力する方法で、一見大変そうに思えますが前述したとおり入力が意外に簡単で早く競技中に入力したスコアカードは計算間違いやミスが毎試合のように結構あり、この方法はこれらの間違いの発見ができ、スコアカードの計算間違いが多いことが問題でデータ入力よりもそのミスの修正に手間取る始末です。

B) 「集計入力」データシートへ入力する場合。

各ラウンドの実打合計と H1、2 打、3 打、などスコアカードに集計したものを見て入力します。こちらが一見入力の手間が省けそうですが実際には意外と面倒です。このシートを削除したところ、「ご使用者から困るとメールが届き試合数を 5 回以上する場合に便利で、スコアの計算確認員も配置している」とのことで復活しました。本説明書の説明は不十分です。従って B) 項の入力方が良いと思われる場合はこちらでご使用ください。

10) 前記「2)」項で少し述べましたが、この Add-in タイプの「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム」はプログラムとデータが別々のフォルダに存在し、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」など日付の違う試合データを起動すると別の「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダにあるプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」がデータのすべての動きを制御して計算します。添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」など試合ごとのファイルにはマクロを含まないためファイルサイズが極めて小さくなります。また同好会や大会ごとにアドインプログラムは必要なく 1 個で共通に制御します。

11) 大勢の競技にも対応しており打数順位を短時間で公開でき、設計上は最大 1,000 人までの集計を可能にプログラミングしています。

12) グラウンドゴルフのルールにより 合計 = 実打 - (ホールインワンの数×3) として式を設定しています。

13) このプログラムにおいて順位を付ける場合、ルールを次の基準を元に決定します。

14) 合計の少ない方が、順位が上です。

15) 合計が、同点である場合は H1 (1 打→ホールインワン) 2 打、3 打の打数の回数が多い方が、順位が上位 (3 打より 2 打、1 打が多い方が上位) としています。

このためこのプログラムによる集計処理をすると同点であっても同順位の発生は極めて少なくなります。「点数順集計表」シートの「X」列と「Z」列の各行を参照。

16) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」を開くと「点数順集計表」シートに赤色と緑色の字幕の部分があり、合計点だけでなく H1、2 打、3 打も同数で、完全な同順位になります。シートに同順位がある場合は同順者だけでゴールに向かってボールを打ちゴールに近い方が上位と言う約束で「ニアピン」競技「4 (23)」項を行い「ニアピン競技をした場合の処理方法」「点数順集計表」シートにその結果を記入することもできます。再度「点数順集計表」シートで「データ集計」をクリックするとリアルタイムで同順位を消して順位を付けが可能です。

17) 機能の一例になりますが例えば 1 回目の競技が終了 2 ラウンド目のプレーをしている

間に1回目のデータを入力する場合は、シートの「試合打切」の項目に「0」を入力して置くと、一人目の競技者の1ラウンドの入力が終わると「セルへ転送」がフォーカスしており「Enter」するだけで自動的に次の競技者名をダイアログボックスに表示し、1ラウンドの最初のホールの入力ボックスをフォーカスするので打数の入力が可能です。

- 18) データを入力するには大会順位の発表待ち時間を少なくするために1台のパソコンで入力する方法以外に複数のパソコンで入力を分担し、プレーが終わると複数のパソコンのデータをUSBフラッシュメモリーに保存し、集計用のパソコンに集め、これらのファイルを毎回入力データシートまたは「集計入力データ」シートから<GGファイル取り込み>を1回の操作で取り込み、「データ集計」を選択して一気に集計し、待ち時間を極短時間にすることができます。この説明は後述する「4(26)多人数による大会での集計方法」になります。

- 19) その他、データをシートに入力する際、入力するセル以外の関数式を誤って消す事が無いように、また万一消した場合でも式の再入力をあらゆる形でリカバーしています。

- 20) 「[図4プログラムの関係](#)」の図は添付した3個のファイル相互間のデータ提供と受け側の利用目的の図になりますが、**中段**の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」は競技が済みスコアカードから成績を読み取りデータを入力し集計するプログラムで毎試合ごとの集計プログラムを1つのフォルダ内にまとめて保存しておきます。上段、下段の何れも専用のプログラム処理コマンド(アイコン)をクリックして赤い矢印のようにアクセスしてフォルダを選択するだけで青い矢印のようにデータをまとめて取り込み**上段は多人数の大会用としてスコアカードの印刷に使用します。下段は打数などを一切手入力することなく「週間」、「月間」、「年間」、「四半期」、「優勝回数」などの成績を集計でき、印刷して掲載ができるプログラムです。**



図4プログラムの関係

「[図4プログラムの関係](#)」の図の中段と下段のプログ

ラムについては簡易説明を「[8データベース化した本プログラムの使い方要約](#)」で説明しており実践される場合は印刷して参考になさってください。

- 21) グラウンドゴルフ同好会などの試合結果を次の試合会場で掲載する時は「XL_Z4_AR全試合スコア集計 2014.xlsx」の場合は末尾の「[図7 年間・月間 集計表](#)」を印刷して掲載し、本説明書の元データでもある「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」については「[図6 点数順集計表](#)」を印刷し、これらの二種類を掲載すれば良いのではと思います。また、試合会場で年度末の打ち上げや、何かで同好会で宴会などがあった場合は「XL_Z4_AR全試合スコア集計 2014.xlsx」サンプルによる「優勝回数」シートや「四半期データ」シートの成績などを発表すると喜ばれます。

電子メールを用いれば同好会の希望者には「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」や「XL_Z4_AR全試合スコア集計 2014.xlsx」などを試合があるたびに送ることもできま

す。

- 22) 作者が NEW バージョンを発行した場合の更新は「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を使用して簡単に更新ができます。
- 23) 拡張子を表示しないとファイルの区別が分かりにくくて非常に使いにくいいため、「[10 \(1\)拡張子について](#)」を参照して表示するように設定してください。

グラウンド・ゴルフデータ全打数表

試合打切 0

競技大会: 2015年03月29日(日)

グラウンドゴルフ同好会

No	GN	Start Hole	氏 名	1	2	3	4	5	6	7	8	実打	H1	2打	3打	実打 計	H1 計	2打 計	3打 計	合計
1	1	1	川岡 秀雄	3	3	2	3	3	4	2	3	23		2	5	85	3	9	16	76
				3	3	2	3	4	3	2	3	23		2	5					
				3	3	3	4	4	1	2	3	23	1	1	4					
				2	2	2	3	3	1	1	2	16	2	4	2					
2	1	1	伊藤 紀江	3	5	3	5	3	3	4	3	29			5	70		8	12	70
				2	3	3	2	2	3	2	2	19		5	3					
				3	2	4	3	2	3	2	3	22		3	4					
3	1	1	瀬山 秋子																	
4	1	1	青木 真理子																	
5	1	1	金子 芳美																	
6	1	1	北村 千鶴子																	
7	2	3	長谷川 悦雄																	
8	2	3	木村 素子																	
9	2	3	小泉 智恵子																	
10	2	3	小林 昭子																	
11	2	3	佐々木 英明																	
12	2	3	澤辺 寿子																	
13	3	5	神宮司 理少																	
14	3	5	山住 政人																	
15	3	5	谷口 浜子																	
16	3	5	辻井 美津子																	
17	3	5	内山 恵美子																	

データ入力

No GN スタートホール 試合打切 セルへ転送

氏名 2桁入力 再取り込み キャンセル ☐ 打数スキップ

	1	2	3	4	5	6	7	8	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R	3	5	3	5	3	3	4	3	29			5	29	<input type="checkbox"/>
2R	2	3	3	2	2	3	2	2	19		5	3	19	<input type="checkbox"/>
3R	3	2	4	3	2	3	2	3	22		3	4	22	<input type="checkbox"/>
4R														<input checked="" type="checkbox"/>
Total									70		8	12	70	

図 5 競技大会の集計状況

点数順集計表

競技大会： 2015年03月29日(日) グラウンドゴルフ同好会

No	GN	氏 名	1R				2R				3R				4R				Total				合計	ニア ピン	順位
			実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打			
3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25		3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72		1
18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19		5	3	21	1	2	4	19		5	3	78	2	16	12	72		2
2	1	伊藤 紀江	29			5	19		5	3	22		3	4	14	3	4	1	84	3	12	13	75		3
1	1	川岡 秀雄	23		2	5	23		2	5	23	1	1	4	16	2	4	2	85	3	9	16	76		4
4	1	青木 真理子	24		2	4	21		3	5	19		6	1	17	1	5	2	81	1	16	12	78		5
9	2	小泉 智亜子	20		4	4	23		3	3	21	1	2	4	21	1	2	4	85	2	11	15	79		6
15	3	谷口 浜子	26			6	20		4	4	21	1	1	6	20	1	3	3	87	2	8	19	81		7
26	5	野山 孝一	22		5		21	1	2	4	20		6		21		4	3	84	1	17	7	81		8
10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19		5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82		9
17	3	内山 恵美子	23		2	5	22		3	4	22		2	6	18	1	4	3	85	1	11	18	82		10
25	5	淺岡 智宏	22		3	4	22		2	6	19	1	3	4	22		3	4	85	1	11	18	82		10
11	2	佐々木 英明	20	1	2	5	24		3	3	21		3	5	22		3	4	87	1	11	17	84		12
29	5	山本 秀子	21	1	2	4	22		2	6	21		4	3	23		3	4	87	1	11	17	84		12
14	3	山住 政人	21	1	1	6	20		4	4	23		2	5	23		2	5	87	1	9	20	84		14
12	2	澤辺 寿子	20		4	4	21		4	3	22		3	4	21		5	1	84		16	12	84		15
20	4	夏川 智実	23		2	5	21	1	1	6	21		4	3	23		1	7	88	1	8	21	85		16
21	4	石宗 和歌子	26		1	4	20	1	2	5	21		4	3	22		2	6	89	1	9	18	86		17
27	5	松山 義之	21		3	5	24		1	6	19		5	3	22		3	4	86		12	18	86		18
30	5	吉岡 由加里	22		2	6	20	1	2	5	25			7	23		2	5	90	1	6	23	87		19
22	4	浜崎 百合子	23		1	7	21		4	3	22		2	6	21		3	5	87		10	21	87		20
24	4	藤木 真紀子	24			8	26		3	1	20	1	2	5	21		3	5	91	1	8	19	88		21
13	3	神宮司 理沙	20		5	2	22		3	4	23		3	4	24		2	4	89		13	14	89		22
28	5	安田 由紀	24		3	3	23		1	7	21		4	3	21		3	5	89		11	18	89		23
16	3	辻井 美津子	23		2	5	20		4	4	24			8	22		4	2	89		10	19	89		24
7	2	長谷川 悦雄	23		2	5	21		3	5	24		3	3	23		4	1	91		12	14	91		25
8	2	木村 素子	22		2	6	25		2	4	22		3	4	22		4	2	91		11	16	91		26
5	1	金子 芳美	24		1	6	28		1	4	22		3	4	21		3	5	95		8	19	95		27
6	1	北村 千鶴子	23	1	2	2	23		3	3	28		2	2	25		1	5	99	1	8	12	96		28
19	4	中山 孝実	32			2	23		4	1	22	1	2	3	23		2	5	100	1	8	11	97		29
23	4	平野 芳子	24		2	4	24		3	3	26		1	4	25			7	99		6	18	99		30

図 6 点数順集計表

2014年度グラウンド・ゴルフ成績表（年間） 基準出席率：50% 自：2014/04/03～至：2015/03/28 (3月分)

番号	氏 名 (敬称略)	試合総合計(順位: 1R平均)					試合RUD数 69 205	
		合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率
6	金子 芳美	2824	37	59.7	19.89	1	48	70
12	佐々木 英明	3796	49	59.9	19.98	2	64	93
14	神宮司 理沙	3758	42	62.6	20.88	3	60	87
16	谷口 浜子	4113	44	63.0	20.98	4	66	96
9	木村 素子	3950	38	63.4	21.12	5	63	91
28	山住 政人	3604	37	64.0	21.33	6	57	83
1	青木 真理子	3496	31	65.6	21.85	7	54	78
15	瀬山 秋子	4154	26	65.6	21.86	8	64	93
11	小林 昭子	2437	15	65.9	21.95	9	37	54
10	小泉 智亜子	4471	44	67.4	22.47	10	67	97
8	北村 千鶴子	3866	34	67.4	22.48	11	58	84
7	川岡 秀雄	2048	25	60.2	20.08		34	49
13	澤辺 寿子	868	15	62.0	20.67		14	20
4	伊藤 紀江	2008	17	66.2	22.07		31	45
22	長谷川 悦雄	688	5	68.8	22.93		10	14
17	辻井 美津子	89	1	89.0	29.67		1	1
2	浅岡 智宏							
3	石宗 和歌子							
5	内山 恵美子							
18	中川 由加里							
19	中山 孝実							
20	夏川 智実							
21	野山 孝一							
23	浜崎 百合子							
24	藤木 真紀子							
25	平野 芳子							
26	松山 義之							
27	安田 由紀							
29	山本 秀子							
30	吉岡 由加里							
31								
32								
33								
34								
35								

番号	氏 名 (敬称略)	試合総合計(順位: 1R平均)					試合RUD数 7 21	
		合計	H1	3R 平均	1R 平均	順位	出席 日数	出席 率
6	金子 芳美	338	10	56.3	18.78	1	6	86
12	佐々木 英明	349	6	58.2	19.39	2	6	86
14	神宮司 理沙	420	6	60.0	20.00	3	7	100
1	青木 真理子	367	5	61.2	20.39	4	6	86
16	谷口 浜子	377	5	62.8	20.94	5	6	86
8	北村 千鶴子	378	5	63.0	21.00	6	6	86
10	小泉 智亜子	454	8	64.9	21.62	7	7	100
28	山住 政人	391	2	65.2	21.72	8	6	86
15	瀬山 秋子	459	2	65.6	21.86	9	7	100
4	伊藤 紀江	342	1	68.4	22.80	10	5	71
7	川岡 秀雄	104	5	52.0	17.33		2	29
11	小林 昭子	193	1	64.3	21.44		3	43
9	木村 素子	129	1	64.5	21.50		2	29
13	澤辺 寿子	67		67.0	22.33		1	14
22	長谷川 悦雄	142		71.0	23.67		2	29
17	辻井 美津子	89	1	89.0	29.67		1	14
2	浅岡 智宏							
3	石宗 和歌子							
5	内山 恵美子							
18	中川 由加里							
19	中山 孝実							
20	夏川 智実							
21	野山 孝一							
23	浜崎 百合子							
24	藤木 真紀子							
25	平野 芳子							
26	松山 義之							
27	安田 由紀							
29	山本 秀子							
30	吉岡 由加里							
31								
32								
33								
34								
35								

1 / 1

図 7 年間・月間 集計表

3 配布用ファイルの説明とインストール・アンインストール

黄色字幕はフォルダ 水色字幕は Excel ファイルを示す

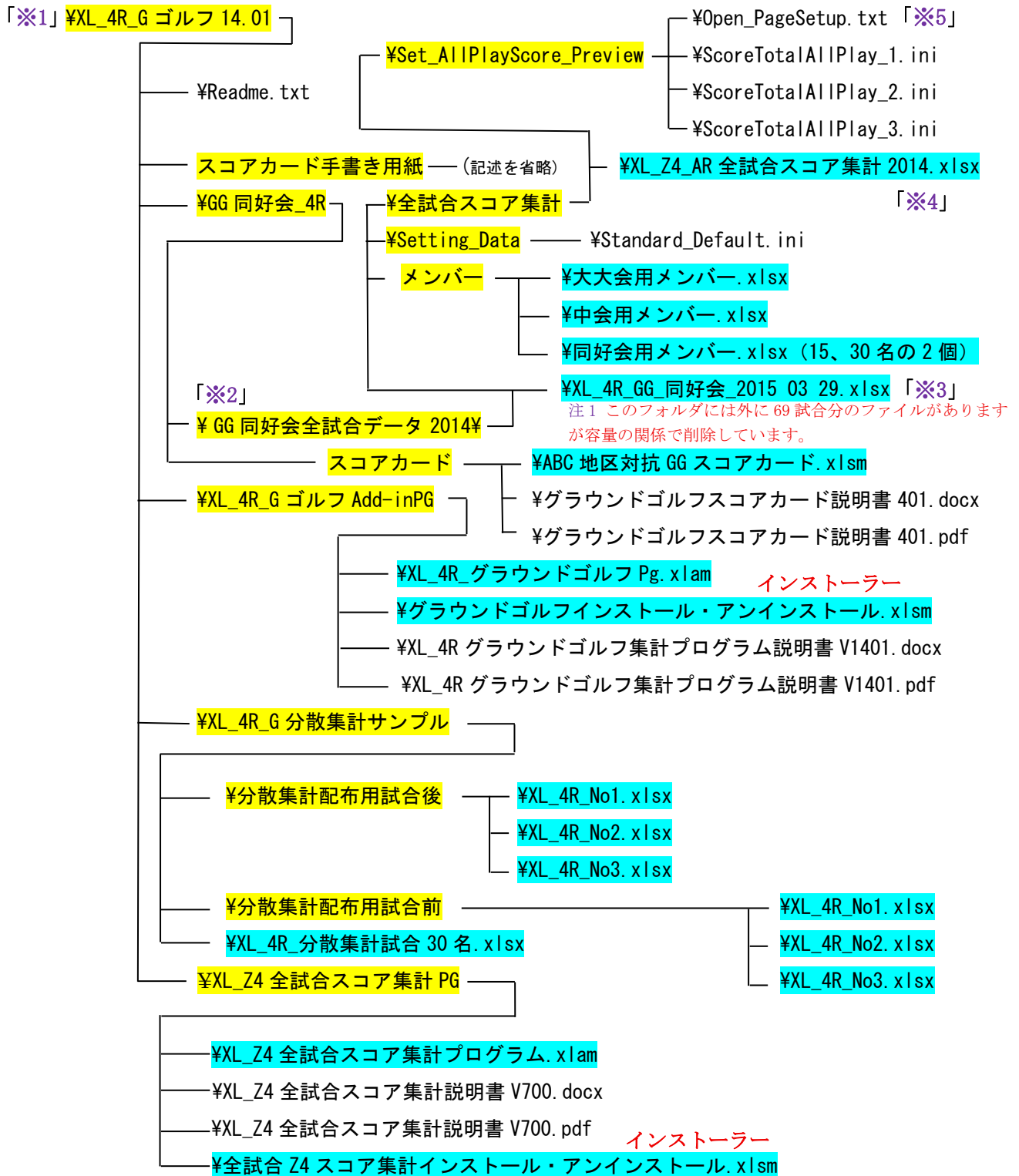


図 8 配布ファイルの内容

(1) 配布用ファイルの説明

配布用の zip 圧縮ファイル「XL_4R_Ggolf1401.zip」を解凍してできた「XL_4R_G ゴルフ 14.01」フォルダの中は「[図 8 配布ファイルの内容](#)」図のように構成されています。同図「※3」の¥マークはフォルダです。この項で説明することが良くわからなくても後の項で順次操作説明をするのでこだわらなくても大丈夫です。

※1 1) XL_4R_G ゴルフ 14.01 フォルダ：

この「XL_4R_G ゴルフ 14.01」をフォルダごとドキュメントまたはマイドキュメントに保存してください。ユーザー用のフォルダは使い易くするため後述する「[\(6\) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方](#)」を参考に作ってください。

※2 2) GG 同好会全試合データ 2014 フォルダ：

「[\(6\) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方](#)」を参考にしてください。このフォルダを丸ごと同じ場所にコピー&ペーストしてユーザーが毎回試合をしたファイルを「[図 27 GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中](#)」のようにまとめて格納します。年度が替わった場合は新しいフォルダを作ってください。

※3 3) XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx：

Excel2007 以後のバージョン用のサンプルデータで前記「[2](#)」項の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダ内の「※3※3※3」の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」ファイルは「ユーザー用」の競技用ファイルを作る場合に使用します。このファイルは VBA マクロを含まない普通の Excel ブックです。後述する「[5](#)」項のアドイン (Add-in) という別のプログラムが「[図 18 グラウンドゴルフタブ](#)」を表示して使い易くするのですが先頭の 5 文字「XL_4R」をプログラムが識別し「グラウンドゴルフの集計用データ」として「[図 3 データ入力ダイアログボックス](#)」を表示するためこの文字が少しでも違うと表示しません。残りの文字列は「競技名」、「日付」などを加えてファイル名としますが、Windows の定義により、「¥ / , ; : * ? " < > |」などの半角文字は使用できません。Ver8.01 からは競技集計用ファイルはプログラム処理により自動で作ることができ「[4 \(2\) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る](#)」並びに「[4 \(3\) ユーザー用第 2 回目の競技以降の集計用ファイルを作る](#)」の項で説明しています。(末尾の日付は「XL_4R_GG_同好会_2014.03.29」などのように「.」(ドット)の使用も「拡張子」と区別しにくいので半角スペースを使用しているため手動で修正する場合はご注意ください。

4) XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx：

※4 このファイルは参考用です。このファイルを開き名前を付けて保存により別名の「ユーザー用」の集計ファイルとして使用します。先頭には「XL_Z4」の 5 文字が必要です。ファイルを開いていただければ分かりますが「[220](#)」項や「[221](#)」項、後方の「[8 データベース化した本プログラムの使い方要約](#)」の項で説明しているように「¥GG 同好会_4R¥GG 同好会全試合データ 2014」フォルダを選択することで専用のプログラム処理コマンドアイコンを選択して 1 回の操作で「年間」、「月間」、「週間」、「四半期」、「優勝回数」などの集計が作成できます。「[221](#)」項でも説明したように、グラウンドゴルフ同好会などの試合結果を次回の試合会場で掲載する時は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」

の場合は末尾の「[図 7 年間・月間 集計表](#)」を印刷して掲載し、本書で説明している「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」については「[図 6 点数順集計表](#)」を印刷し、これらの二種類を掲載すれば良いと思います。

5) XL_4R グラウンドゴルフ Pg. xlam :

添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」はこのファイルの基でユーザーが集計した「XL_4R_XXX yyyy mm dd.xlsx」(XXはタイトル、yyyy mm ddは西暦年月日) データファイルなどを使用する場合にメニューやダイアログボックスなどを表示するプログラムファイルです。(このファイルはプログラムですから何も表示しませんのでダブルクリックしないでください。インストール後は既に開いているプログラムと競合します。)

6) 「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」:

「5)」項のプログラムをアドインに組み込みするときに使用する Excel VBA マクロを使用したファイルです。「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダの中に「XL_4R グラウンドゴルフ Pg. xlam」と共に保存する必要があります。

新バージョンの更新時には「[\(5\)新バージョンに更新する場合](#)」を参考に使用してください。そのほかアドインに組み込みした場合で、この「XL_4R グラウンドゴルフ Pg. xlam」を使用しない場合にアドインを解除するために使います。

7) 「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.docx」:

この説明書の Word 版です。

8) 「XL_4R グラウンドゴルフ集計プログラム説明書 V1401.pdf」:

この説明書の pdf 版です。

9) 「Redme.txt」:

このプログラムファイルの所在、動作に必要な条件を記述した簡単な説明です。

10) 「Standard_Default.ini」:

プログラムが使用する設定用ファイルです。

削除してはいけません。「メンバー編集」シートでメンバーを構成する場合に使用するファイルで「XL_4R_G ゴルフ Add-inPG」フォルダの中に「XL_4R グラウンドゴルフ Pg. xlam」と同じフォルダに格納する必要があります。

11) 「XL_4R_G 分散集計サンプル」:

この「グラウンドゴルフ集計プログラム」では大きな大会の時、集計処理を早く行うためにパソコンを2台以上用意してデータ入力作業を分散して行いUSB フラッシュメモリーに書き出して集計用の1台のパソコンに戻し、すばやく集計を行うことができます。説明については後述する「[4 \(26\) 多人数による大会での集計方法](#)」になります。

12) ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm :

多人数の大会用に「3)」項の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」のデータを利用してスコアカードを手入力なしで編集し競技をする場合に印刷して記録用に使用できます。本プログラムから逆に「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」にアクセスして取り込みできることや次項の「15)」のように「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」にアクセスして取り込むこともできます。

13) グラウンドゴルフスコアカード説明書 401.docx :

前「12)」項の ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm を単独使用する場合の Word 版説明書

14) グラウンドゴルフスコアカード説明書 401.pdf :

前「12)」項の ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm を単独使用する場合の Pdf 版説明書

15) 大会用メンバー.xlsx :

XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx の「メンバー編集」シートから「4 (14) 「メンバー編集」 メンバーシート書き出し」を実行して保存した多人数の大会用のメンバー編集データです。

「メンバー編集」シートに同メニューから取り込むこともできます。

16) 同好会用メンバー.xlsx :

XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx の「メンバー編集」シートから「4 (14) 「メンバー編集」 メンバーシート書き出し」を実行して保存した同好会用のメンバー編集データで逆に「メンバー編集」シートに取り込むこともできます。

17) スコアカード手書き用紙フォルダ :

フォルダの内容を省略するので、同フォルダ内の「スコアカードの使い方.txt」並びに「エコ型手書き_少人数スコアカード記入方法.docx」をご覧ください。

(2) インストール前の注意事項 (重要)

インストールの前に下記の「1)」～「7)」項を実行してください。いきなり「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」をクリックしてインストールを実行した場合は、「図 9 保護ビュー」を表示し、同図①のボタンを押すと「図 10 セキュリティリスク」を表示し、同図②のボタンを押すと以下の「インストール失敗」で説明のようになりインストールはできません。(インターネットからダウンロードまたは電子メールなどで取得したマクロを含む「Microsoft Office」製品はシステムからセキュリティーブロックをされてインストールできません。完全にファイルがロックされる場合もあり、ご注意ください！)

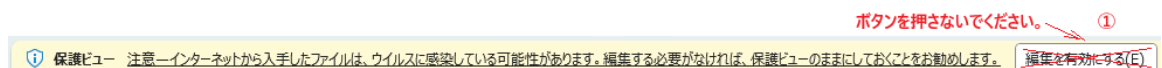


図 9 保護ビュー



図 10 セキュリティリスク

- 1) デスクトップ PC アイコンの「ダウンロード」フォルダの中、またはユーザーが指定したフォルダの中に「XL_4R_Ggolf1401.zip」ファイルができます。
- 2) 同ファイルをダブルクリックで開くと「XL_4R_G ゴルフ 14. 01」ファイルを表示します。(ここまでは済んでいるので本説明書が見えているはずです)
- 3) 同ファイルを右クリックして「切り取り」を押して「ドキュメント」フォルダへ「XL_4R_G ゴルフ 14. 01」を貼り付けしてください。
- 4) ドキュメントの「XL_4R_G ゴルフ 14. 01」をダブルクリックして<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG> - <グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm>を右クリックし

＜プロパティ＞をクリックします。

- 5) 「図 11 セキュリティ」が表示します。
- 6) 同図の①「許可する」にチェックを入れて②の＜OK＞を押します。添付の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」など拡張子が「.xlsx」のファイルも同様に「セキュリティ」の「チェックマーク」を ON にしてください。
- 7) 以上が済んだ場合は「(3) インストール」の項に進んでください。

インストール失敗：先に「1)」～「7)」項を実行しないでいきなり「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsx」をクリックした場合は前述したようにインストールすることができません。「図 9 保護ビュー」で①の



図 11 セキュリティ

ボタン「図 10 セキュリティリスク」②の「詳細表示」ボタンを押した場合、「潜在的に危険なマクロがブロックされました」と Web ページを表示して以後インストールすることはできません。

インストールできないので「4)」の操作により改めて「図 11 セキュリティ」の図を表示しても同図の①の「許可する(K)」が表示しません。(繰り返すなどの状況によりこの表示画面はいろいろ変わります) 表示しない場合はダウンロードしたファイルがブロックされているのでここで実行しようとして失敗したすべての「XL_4R_Ggolf1401.zip」、「XL_4R_Gゴルフ 14.01」などダウンロードして操作したファイルすべてを PC から削除した後に、ベクターから再度ダウンロードしてあらためて前記「1)」～「7)」項を実行してください。

(3) インストール

- 1) 解凍したフォルダ＜XL_4R_G ゴルフ 14.01＞－＜XL_4R_G ゴルフ Add-inPG＞フォルダを開いて「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsx」を開きます。
- 2) 「図 12 コンテンツの有効化」の図が表示します。
- 3) 同図の「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。
- 4) 既にお気付きと思いますが、ファイルを開いた場合は画面に注意書きがあります。



図 12 コンテンツの有効化

「注意！ 本プログラムは処理を終了後、自動的に Excel を閉じて Windows の画面に戻ります！他のブックを開いている場合はキャンセルして、すべてを閉じた上で再度開いてください。」

とあるとおり、複数のブックを開いている場合は事前に他のブックを閉じて本プログラムだけを開いてください。

- 5) 「図 13 インストール」の図が表示しています。
- 6) インストールされるフォルダは次になります。
「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」になります。



図 13 インストール

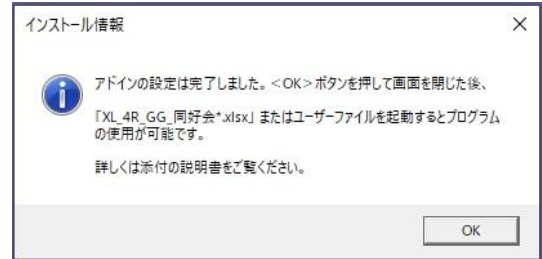


図 14 インストール完了

- 7) 「図 13 インストール」の図の<インストール>をクリックしてください。
「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」フォルダに配布の「XL_4R_G ゴルフ 14.01」を保存されている場合は同図の「プログラム保存パス:」は「[https:///~](https:///)」と表示します。
- 8) インストールが完了すると「図 14 インストール完了」の図が開くので<OK>を押すとすべて自動で閉じて Windows 画面に戻ります。
- 9) 操作説明は「4 「グラウンドゴルフ集計サンプル」の使用方法」で説明していますが、「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開くと「図 18 グラウンドゴルフタブ」の図を表示して使用が可能になります。
- 10) 次にアンインストールの説明をします。

(4) アンインストール

- 1) 使用していた Excel ファイルをすべて閉じ、次に「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を開くと「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg.xlam」がインストール済みの場合自動的に「図 15 アンインストール」の図が開きます。

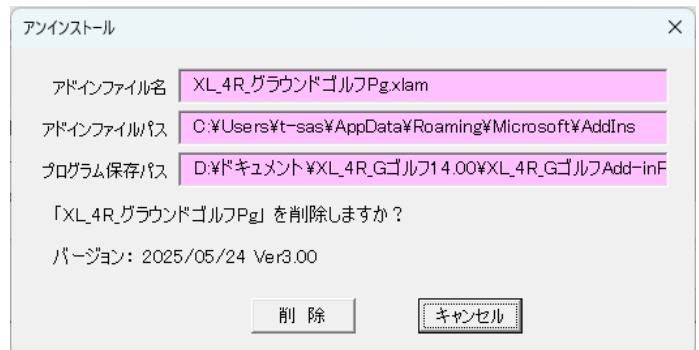


図 15 アンインストール

- 2) 画面上の「注意!」書きの内容のように、他のファイルがすべて閉じられている場合は<削除>を押してください。
- 3) 「図 16 アンインストール完了」の図が表示して<OK>をクリックするとアンインストールが終了し Excel が自動的に閉じて Windows の画面に戻ります。

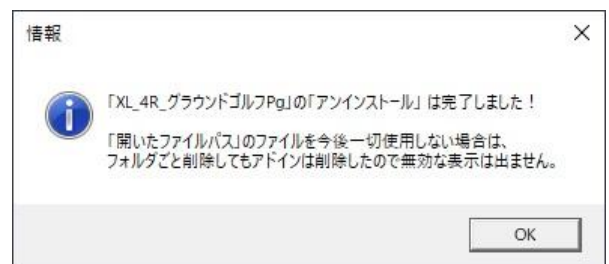


図 16 アンインストール完了

- 4) 「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns\」にインストールしていた「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg.xlam」はアンインストールした場合は削除します。

(5) 新バージョンに更新する場合

これまでにバージョン Ver9.01 以降をご使用の場合は以下のとおりです。それ以前のバージョンについては期間もかなり経つので省略します。

- 1) 事前に「(2) インストール前の注意事項 (重要)」を実行しないとインストールできな

いので実行してください。

- 2) 「XL_4R_G ゴルフ」を使用していた場合は、解凍してできた「XL_4R_G ゴルフ 14.01」をフォルダごとドキュメント等に保存してください。
- 3) 同フォルダ内の<XL_4R_G ゴルフ 14.01>—<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG>—<グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm>をダブルクリックします。
- 4) 「図 15 アンインストール」が表示するので<削除>をクリックしてください。
- 5) アンインストールが終了すると「図 16 アンインストール完了」が表示するので<OK>を押してください。Excel 画面は自動で閉じます。
- 6) 続けて「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」をクリックします。
- 7) 「図 13 インストール」が表示するので<インストール>をクリックしてください。
- 8) インストールが終了して「図 14 インストール完了」が表示するので<OK>を押してください。
- 9) 以上で新バージョンインストールは完了するのでこれまで使用していた試合ファイル起動してバージョン番号が「XL_4R_G ゴルフ 14.01」になっていることを確認してください。
- 10) 「XL_4R_G ゴルフ 14.01」より以前に使用していたフォルダは削除して構いません。

(6) ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方

- 1) 「図 17 ユーザー用フォルダの作り方」の図の上側は添付ファイルを解凍したフォルダ構成図です。「XL_4R_G ゴルフ 14.01」フォルダの中の①の「GG 同好会_4R」を同図の下側の図の①のようにそのままドキュメントの中に「コピー＆ペースト」してください。

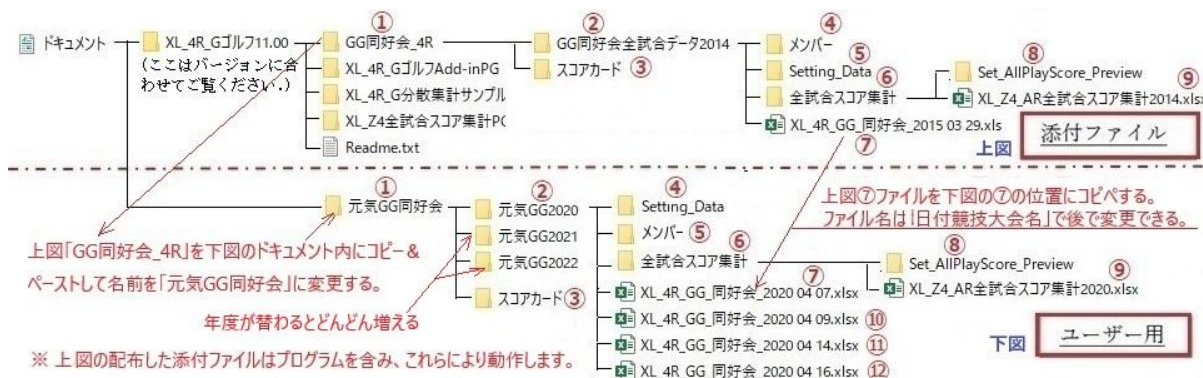


図 17 ユーザー用フォルダの作り方

- 2) 添付の「XL_4R_G ゴルフ 14.01」フォルダはそのまま残して置きます。その残した中にあるアドインプログラムが動作して下側のデータファイルをコントロールします。
(参考：先でバージョンアップなどをする場合、同じドキュメントフォルダ内に新バージョンを保存し完全に動作するようになれば古いバージョンは削除しても構いません。下側のデータファイルはアドインプログラム方式のため、データシートの変更が無制限、バージョンアップしても何もしないでそのまま使えます)
- 3) フォルダ構成は同図のようにしないとプログラムの操作中にユーザーがファイルを選択する場合、操作に手間がかかる上、設定用のファイルには動作できないものもあるため

このフォルダ構成としてください。

- 4) 「コピー&ペースト」した下の図で、「フォルダ名」①を「元気 GG 同好会」②を「元気 GG2020」のように変更します。但し、この時フォルダ名「元気 GG」は、説明上の仮名ですから、フォルダ名①「元気 GG 同好会」をユーザーが試合をされる名前に変更し、②「元気 GG2020」フォルダ名もユーザー用します。その後にプレーを開始する西暦を付け加えます。以後この説明で「元気 GG」と表記した場合は「ユーザー用の試合名」であると解釈してください。ユーザーの試合名は分からないので説明ができないためです。

- 5) 「[図 17 ユーザー用フォルダの作り方](#)」の図の②は年度ごとの西暦でフォルダをわけます。ユーザー用のフォルダ名で③、④、⑤、⑥、⑧、は変更してはいけません。ファイル名については先頭に「XL-4R」、「XL-Z4」が付く⑦と⑨、のファイルはこれらの文字列を取り除くことはできないので規定どおりに（「※3」、「※4」で説明しています）

プログラムを新規に開始する場合、上記「1)」項の①を「コピー&ペースト」したとき「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」が下の図の⑦フォルダ内「コピー&ペースト」されています。ファイル名末尾の年度を替える、またはそのまま替えないで「4 (2) 5)」の処理で変更する下記の2種類の方法があります。

参考事項 ⑦の試合用のファイル「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」のXL_4Rより右にある「GG_同好会」の文字は変更可能です。（例：「XL_4R_元気 GG_2015 03 29.xlsx」）

- a. 名前を「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」から「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」のようにユーザーの試合日当日に日付を変更します。

… この場合は「4 (2) 11)」～「4 (2) 14)」項の操作が不要のため推奨します。

- b. 名前を「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」のように、そのままにして置く。

… この場合は「4 (2) 11)」～「4 (2) 14)」項の削除する操作が余分に必要です。

ファイル名の変更などは後述する「4 (2) ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る」の項で変更し、ユーザー用の試合記録用データファイルに変更します。

- 6) プログラムを新規開始する場合は②の「元気 GG2021」、「元気 GG2022」と⑩～⑫は試合をするたびに増加して行く競技用のファイルのため最初は作る必要はありません。年度が替わった時、また試合回数が増えた時の例ですから参考にしてください。
- 7) ⑤の「Setting_Data」フォルダがありメンバーシートの「グラウンドゴルフ」タブのメンバー右クリック入力により自動で作る設定用の「Standard_Default.ini」ファイルがありプログラムが使用するものですからそのままにしておいてください。
- 8) ⑥の「全試合スコア集計」フォルダ、その中に⑧の「Set_AllPlayScore_Preview」と⑨がありXL_Z4_元気 GG 全試合スコア集計 2020.xlsxがあり波線の部分をユーザー用の集計名に変更できますが、西暦だけの変更でも構いません。使い方については添付の別の説明書「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V**.pdf」で説明しています。
- ⑧の「Set_AllPlayScore_Preview」は「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xlsx」を実行する場合に自動で作る印刷設定用データ（「※5」で示す）4個のファイルが入ります。

プログラムが使用するものですからそのままにしておいてください。

9) 試合データその他の設定は以下の「4」項の説明を基にユーザー用に設定して下さい。

4 「グラウンドゴルフ集計サンプル」の使用方法

このプログラムに添付した「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」ファイルは説明用サンプルですが後述する「(2)ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る」でも使用します。この項では前項「3 (3) インストール」の操作は既に済んでいるものとして記述します。

(1) 本プログラム専用のグラウンドゴルフタブについて

- 1) 「図 8 配布ファイルの内容」図を参考に「※3」印の添付ファイルの「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 前記の「3 (3) インストール」が成功した場合は「図 18 グラウンドゴルフタブ」の赤枠内の「グラウンドゴルフ」タブを表示します。この図の場合は「毎回入力データ」シートのコマンド（アイコン）を表示します。確認ができればファイルを閉じてください。



図 18 グラウンドゴルフタブ

参考：「毎回入力データ」・「集計入力データ」シートで、上の図のコマンド「No の記入」やコマンドラベル「調査」の中の各コマンドは「メンバー編集」シートを作る前の開発なので以下の項各で説明していますが、ほとんど使うことはありません。

(2) ユーザー用第1回目の競技集計用ファイルを作る場合

- 1) 前記「図 17 ユーザー用フォルダの作り方」の下側の図を再掲載したのが「図 19 ユーザー用フォルダ構成」の図になるのでこちらをご覧ください。



図 19 ユーザー用フォルダ構成

- 2) 競技を新規に開始する場合または年度更新の場合は新しいフォルダと競技の集計用データファイルを作りますが、既にドキュメントの中には前記「3 (6) 5」の項で「コピー&ペースト」した⑦の位置に「3 (6) 5 a」を実行した場合は「XL_4R_GG_同好会_2020_04_07.xlsx」があり「3 (6) 5 b」を選択した場合は⑦の位置に「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」があるはず。まず推奨とした「3 (6) 5 a」の「XL_4R_GG_

同好会_2020 04 07.xlsx」を開きます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
1	グラウンド・ゴルフデータ全打数表										試合打切	4									
2	競技大会:	2015年03月29日(日)				グラウンドゴルフ同好会															
3	No	GN	Start Hole	氏 名	1	2	3	4	5	6	7	8	実打	H1	2打	3打	実打計	H1計	2打計	3打計	合計
4					3	3	2	3	3	4	2	3	23		2	5					
5					3	3	2	3	4	3	2	3	23		2	5					
6	1	1	1	川岡 秀雄	3	3	3	4	4	1	2	3	23	1	1	4	85	3	9	16	76
7					2	2	2	3	3	1	1	2	16	2	4	2					

図 20 日付と大会名の変更

- 3) 「図 20 日付と大会名の変更」の図が開き、図のように「毎回入力データ」シート 2 行目赤枠の部分に以前に試合をした日付 2015 年 03 月 29 日が表示しています。

- 4) 「毎回入力データ」シートからリボンの＜日付競技大会名＞をクリックしてください。（「集計入力データ」シートから開く説明は同様のため省略します）

- 5) 「図 21 日付と競技大会名の入力_1」が開くので、①「西暦年月日」は、ご使用中の PC の右下にある「日付と時刻」の当日の「日付」を自動で表示します。この説明ではそのまま当日の日付にされた場合は「図 21 日付と競技大会名の入力_1」図に表示と日付合わないで説明内容が意味不明になるので取り敢えずこの日付どおり「2020 年 04 月 07 日」と入力し、②の試合打切り 4 回であることと大会名を変更の必要はないか確認します。この図の日付は 2020/04/07 ですが、実際に運用する場合は当日の日付を入力する、また本試して当日の日付を入力された場合は図と違うことの判断をして④の＜保存＞を押してください。

日付と競技大会名の入力

① 西暦 2020 年 04 月 07 日 (火) ② 試合打切 4

大会名 グラウンドゴルフ同好会 ③

新規ファイル名 XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx 参照

起動フォルダ名 D:\ドキュメント\元気GG同好会\あすなろGG2020

起動ファイル名 XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx

☐ 日付、試合打切り、大会名の変更で氏名の行は削除しない

☒ 設定した日付で新規ファイルを作る ④ 保存 キャンセル 説明

図 21 日付と競技大会名の入力_1

上書き保存の確認

「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」は既に存在します。
上書き保存をしますか？

OK キャンセル

図 22 上書き保存の確認

- 6) 「図 22 上書き保存の確認」の図のダイアログが表示するので同図赤枠内の日付をよく確認し＜OK＞を押すと「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」の名前で保存をします。すると、「毎回入力データ」シートを含めそれより右のすべてのシートの＜データ集計＞が済むまでタイトル行だけになりファイル名も日付に合わせて変わります。新年度用の試合ファイルを作る操作も同様です。「(3) ユーザー用第 2 回目の競技以降の集計用ファイルを作る」項に進んでも良いし、次項を試す場合は本項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」事前に削除する必要があります。
- 7) 前項で「(5)4a」項の「推奨」で記載した下側の「(5)4b」項の方法の説明です。上記の「2」項で「3 (6)5b」を選択した場合は⑦の位置に「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」が保存したものをダブルクリックしてそのまま起動します。本項の方法は前「5」項で日付を間違えて入力した場合に間違えて出来たファイルの削除などが簡単にできるので応用してください。

- 8) 「4)」項と同様「毎回入力データ」シートからリボンの<日付競技大会名>をクリックしてください。「図 23 日付と競技大会名の入力_2」の図が開きます。

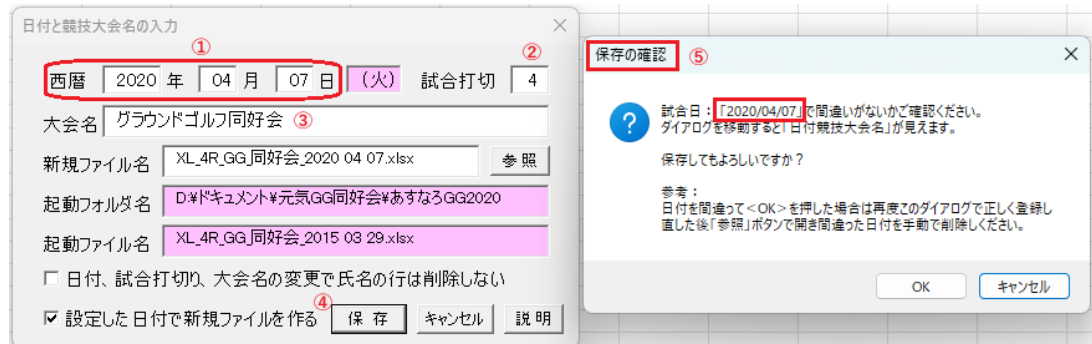


図 23 日付と競技大会名の入力_2

- 9) ①の日付は「5)」項同様に試合日「2020 年 04 月 07 日」と入力し<保存>を押します。
(参考：大会名が違う場合は修正してください。この図の日付は 2020/04/07 ですが、実際に運用する場合は試合日当日の日付を入力し、②の試合打ち切りの数字を変更するかを確認し、大会名はこのままで良いかまたは変更かを確認して④の<保存>を押します。)

- 10) 同図右側の⑤「保存確認」ダイアログが開くので赤枠の日付を確認し<OK>を押すと「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」のファイル名で保存します。

- 11) 再度<日付競技大会名>をクリックして「図 23 日付と競技大会名の入力_2」の図を開きます。

- 12) <参照>ボタンをクリックすると¥ドキュメント¥元気 GG 同好会 ¥元気 GG2020 フォルダが開きます。「図 24 参照_ファイルの選択」の図が開くのでその中に①の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」と②の「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」ファイルがあります。('」項の場合は事前に)

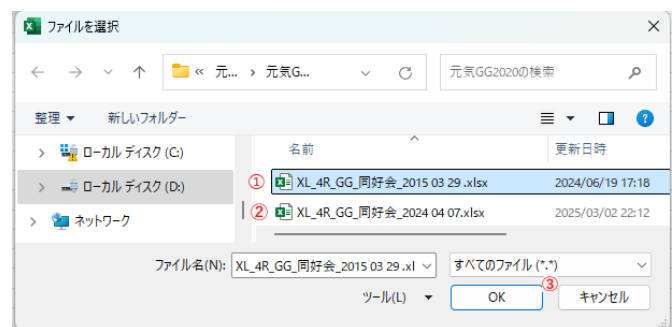


図 24 参照_ファイルの選択

- 13) 不要となった変更前のファイルで①の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の上から右クリックして<削除(D)>をクリックして削除します。

(削除しないで残っていると「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」を集計する場合、同ファイルを一緒に集計して誤った集計となります。この操作はエクスプローラーを開き「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を削除しても構いませんが再度「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」などの集計用ファイルを開くことになり手間が増えます)

- 14) 次に③の<OK>または<キャンセル>をクリックして「ファイルを選択」ダイアログを閉じます。

- 15) 日付を誤り入力して別の日のファイルができた場合も本項の説明同様に別名の日付を

必ず削除してください。

参考：

日付、試合打ち切り、大会名の変更で氏名の行は削除しない：チェックを「OFF」の場合は「毎回入力データ」シートより右側すべてのシートの「氏名」行のデータを消去してタイトル行より上の項目を各シートに設定します。チェック「ON」の場合は各シートの「氏名」行のデータを消去しないでタイトル行より上の項目を各シートに設定します。

設定した日付で新規ファイルを作る：チェックが「OFF」の場合はシートにダイアログの内容を記入するだけで、後から手動で<ファイル>-<上書き保存>の操作をする目的ですからファイルの保存はしません。

(3) ユーザー用第2回目の競技以降の集計用ファイルを作る場合

- 1) エクスプローラーを開き前項で作ったドキュメントの中の「¥元気GG 同好会¥元気GG2020」フォルダ内にある第1回目の試合データである「XL_4R_元気GG_2020_04_07.xlsx」をダブルクリックして開いてください。
- 2) 「図 20 日付と大会名の変更」の図が開き、この図のように「毎回入力データ」シートには赤枠の部分に開いたファイル名と同じ日付 2015 年 04 月 07 日が表示しています。
- 3) 「毎回入力データ」シートから<日付競技大会名>をクリックしてください。
- 4) 「図 25 2 回目以降の競技」の図の左側が開きます。
- 5) ①の「西暦年月日」は試合日の日付「2020 年 04 月 09 日」と入力します。

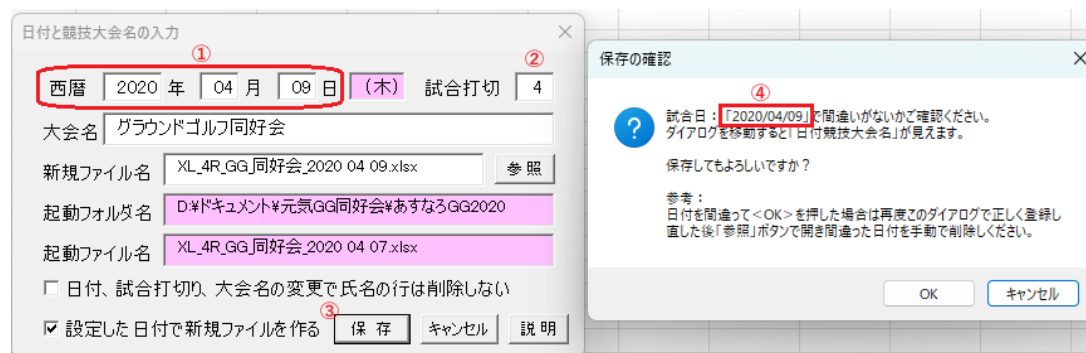


図 25 2 回目以降の競技

- 6) ここで②の「試合打ち切り」が前回の試合回数と異なる場合は数字を変更してください。
- 7) ③の<保存>を押してください。
- 8) 同図の右側の図が表示するので④の「2020/04/09」を確認し<OK>を押します。「毎回入力データ」シートを含めそれより右のシートはすべてタイトル行だけになります。
- 9) 「図 26 2 回目競技集計用ファイル追加」の図のように「¥ドキュメント¥元気GG 同好会¥元気GG2020」フォルダ内に赤枠内で示す「XL_4R_GG_同好会_2020_04_09.xlsx」ファイルが追加されました。
- 10) 「図 25 2 回目以降の競技」の図の右側が表示する理由はこのように前記「5」項で「西暦年月日」のボックスに「2020/04/09」を入



図 26 2 回目競技集計用ファイル追加

力しますが、この日付はパソコンで本日の日付を①の「試合日」に自動入力するので集計日が異なる場合にうっかり日付を見落として＜保存＞を押すと競技集計用ファイルが出来てしまいます。その場合は再度①の日付を正しい日付に修正して＜保存＞を押してください。「(2)12」と「(2)13」項で記述したように＜参照＞をクリックすると「元気 GG2020」フォルダ内に誤って作った日付のデータファイルがあるので同ファイルの上で右クリックして＜削除(D)＞をクリックして削除してください。

参考： 同好会などで繰り返し試合をする場合は「¥ドキュメント¥元気 GG 同好会¥元気 GG2020」フォルダの中に試合で集計した「XL_4R 元気 GG_yyyy mm dd.xlsx」ファイル（yyyy mm dd は試合日）を「図 27 GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中」の図のようにまとめて保存し、「図 8 配布ファイルの内容」の「※3」で示す、GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中には「¥XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の外に 69 の試合ファイルが保存されていますが容量の関係で添付のフォルダ内には保存していません）

(4) 年度更新をする場合

- 1) 年度更新の場合は「図 19 ユーザー用フォルダ構成」の図を参考に前年度のフォルダを丸ごと「コピー＆ペースト」して新年度の名前に修正しフォルダの中の最後の試合データを 1 個だけ残して他の試合日は削除し、「(2) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る」と同じように新年度ファイルに修正します。
- 2) 「図 19 ユーザー用フォルダ構成」図の⑥の「全試合スコア集計」フォルダの中の⑨の「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xls」データは新年度にファイル名を変えるだけです。他に「メンバー」フォルダ内の「同好会用メンバー.xlsx」、「大会用メンバー.xlsx」、スコアカードフォルダ内の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm」ファイルのデータも「スコアカードの利用方法」項で使い方の説明をしています。

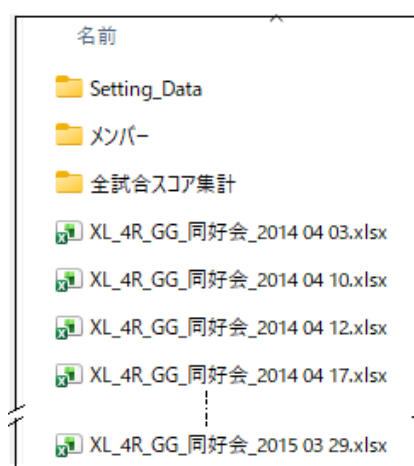


図 27 GG 同好会全試合データ 2014 フォルダの中

(5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む

実際の操作の順番は「(6) 「メンバー編集」シート」の項を先に実行する説明順なのですが、結果をわかり易くするために本項で既に「メンバーの組み合わせ」が完成したものを取り込んでみる説明をします。

- 1) 「(2)6」または「(2)10」項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」ファイルを開いてください。
- 2) 「毎回入力データ」シートが表示するので＜氏名の取込＞をクリックします。
- 3) 「メンバー編集」シートに自動的に移動するので「図 28 メンバー取り込み」の図が表示します。
- 4) ①の「全行取り込み」コマンドボタンを選択して②の

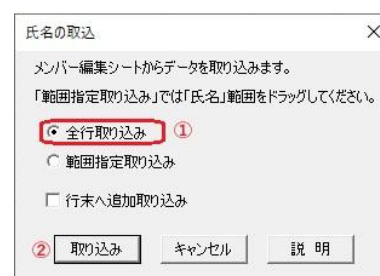


図 28 メンバー取り込み

<取り込み>を押すと「メンバー編集」シートのデータ「A1:D30」の各行に「No」「GN」「Start Hole」「氏名」などのデータを取り込み「データ入力」ダイアログが表示して打数入力の準備が可能になります。

- a. 「範囲指定取り込み」は「メンバー編集」シートの氏名の列を垂直にドラッグした分だけ取り込みます。
- b. 「行末へ取り込み」チェックが「OFF」の場合は取り込み先にあるデータシートをすべてクリアして取り込みます。(デフォルトでは「OFF」です)
- c. 「行末へ取り込み」チェック「ON」の場合はデータ取り込み先にあるデータシートをクリアしないで行末へ追加取込します。(使用することはほとんどありません)

参考:「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートにあるリボンのコマンドで「新規開始／追加／変更」は「**現在のバージョンでは使う必要はありません**」この機能は「**5 (1) 新規開始／追加／変更**」で説明しているように「新規」に「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」のデータを作ることができますが、次の行に記載の方法でもっと簡単に「メンバー編集」をします。

(6) 「メンバー編集」シートの概要説明

- 1) 操作の前に概要説明をします。「メンバー編集」シートを開いてください。
- 2) このシートではA～D列にタイトルがありません。
セルA列はNo、B列はGN（プレーするグループ）、C列はStart Hole（スタートするホール番号）、D列「氏名」です。（「毎回入力データ」シートのタイトルと同じ順）
- 3) 「毎回入力データ」シートや「集計入力データ」シートにメンバー構成を取り込む場合は「メンバー編集」シートのA～Dの4列の内容をすべて取り込みます。但し、「集計入力データ」シートに取り込む場合は「Start Hole」の列は不要なので空白としてください。
- 4) 試合入力のメンバー編集では「A:D」の列番号を選択して「Delete」キーを押し、列の文字をすべて消去して（今は消去しないでください）、「No」「GN」「No」「Start Hole」の設定を先に行ってから氏名の入力をします。ここでは説明の都合上氏名の入力方法を先に説明をします。
- 5) 同好会のメンバーは決まっているのですから一度だけ全員の氏名を入力すればメンバーの増減だけを更新していつまでも使うことができます。
(但し、同好会以外の、グラウンドゴルフの大会の場合ではリボンのコマンドアイコン「スコアカードへ転記」を使用して「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」を利用し、自動で大会用のスコアカードを作ることができ非常に便利です。その説明は「**(15) 「メンバー編集」 スコアカードへ転記**」で説明しています。)

(7) 「メンバー編集」シートで競技者順位を編集

以下は本題の「メンバー編集」シートで競技者順位を編集する説明になります。

- 1) 「**(2)6**」または「**(2)10**」項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」を開き「メンバー編集」シートを表示してください。
- 2) 「グラウンドゴルフ」タブのコマンド「メンバー右クリック入力」をクリックすると

「図 29 メンバー右クリック入力」図のダイアログを表示します。

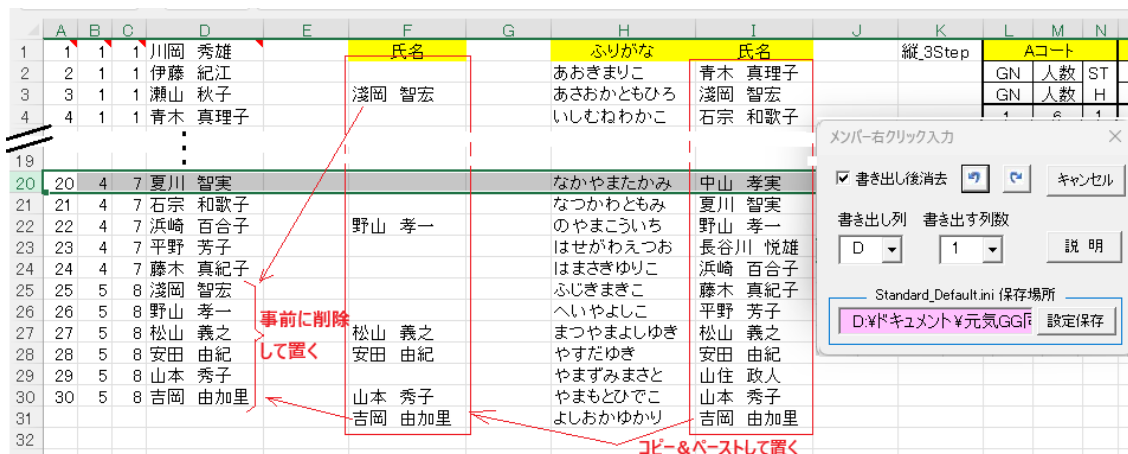


図 29 メンバー右クリック入力

- 3) 「A」列は「No」の列です。現在 1～30 まで記入してありますがデータを転送する場合の最終行計算は「氏名」の行で調査しますから大目を書いてあっても構いません。
- 4) 「B」列は「GN」です。6 人以下が 1 グループですがこの表では 1 グループを番号で構成します。(地域名やアルファベット名などの場合はグループ名を番号に置き換えて解釈)
- 5) 「C」列は「Start Hole」(スタートホール) です。GN に合わせて「メンバー編集」シートの例のように 1 グループごとに 1 (ホール) から 8 までの番号を振ります。
「集計入力データ」シートを使用して集計する場合は不要のため空列にしてください。
- 6) 「D」列は「氏名」の列です。毎試合ごとの氏名は「姓」と「名」の間のスペースは全角、半角を混用しないで同じでなければ「XL_Z4_AR 全試合スコア集計」にデータを渡す場合、月の中で同じ氏名が複数できてしまいます。
- 7) 「F」列は基本とする氏名で、次の「8」項の「I2」セルから「I」列末尾の行までドラッグして、選択範囲の枠を選択し Ctrl キーを押しながら「F 列」へ貼り付けます。
(図 29 メンバー右クリック入力図のダイアログボックスが表示しているとコピー＆ペーストするための右クリックが効きません。「メンバー右クリック入力」ダイアログを閉じれば右クリックでコピー＆ペーストができます)
- 8) 「H:I」列はこのプログラムを使用開始する時に同好会のメンバーを全て記入して五十音順に並べ替えて置きメンバーに変更があった場合に修正して並べ替えて置きます。
- 9) 試合集計のときは事前に「メンバー編集」シートで I 列をすべて F 列にコピー＆ペーストして置き I 列は常に全メンバーが記入されている状態にしておきます。
- 10) スコアカードの「No」、「GN」、「Start Hole」のトップに記入されている氏名と同じ氏名を同図の F 列で探し、その上を右クリックすると F 列の氏名が空白になって D 列に氏名が転送され、氏名を次々右クリックするとクリックした順番に氏名が配列できます。
- 11) 同図のダイアログで、チェックボックスの「書き出し後消去」チェックが「OFF」の場合は「F」列の氏名は空白にならないで氏名の文字を残します。
- 12) 氏名の転送を実際に試す場合は、すべてのメンバーを書き出しており、お試しのため

に「F 列の氏名が残してあるので「D25:D30」セル範囲をドラッグし「Delete」します。

- 13) 実際の入力では氏名はスコアカードの順番故に上下ランダムになりますが、ここでは上から下へ連続した順番にしてあり最初に書き出しする D25 セルを選択しておき次に F3 セル「浅岡 智宏」の上で右クリックすると D25 セルに氏名を転送し順に下の「野山 孝一」～「吉岡 由加里」まで右クリックすると氏名を D30 セルまで書き出します。
- 14) 間違った場合はメンバー右クリック入力ダイアログの上中央 左側の「元に戻す」コマンドボタンを押せば元の位置に戻ります。（「元に戻す」ボタンは氏名を右クリックした時点で表示します）右側の「やり直し」で前位置に戻ります。
- 15) （「メンバー編集」シートはパターンを自由に編集することができそのサンプルは次項の「(12)「メンバー編集」シートの取り込み」を実行すると「メンバー」フォルダから「大会用メンバー.xlsx」「中大会用メンバー.xlsx」「同好会用メンバー30.xlsx」「同好会用メンバー15.xlsx」などの「メンバー編集」シートを「メンバー」フォルダから取り込むことができます。）
- 16) 「書き出し後消去」のチェックボックスは「ON」で使うと「F」列で右クリックした場合に氏名が消去するので残りの氏名が少しずつ少なくなり非常に探し易くなります。
- 17) 次回の試合メンバーを構成する時は「I」列を「F」列にコピーするだけで済みます。右クリックして氏名を書き出す前にスコアカードを見て「B」列の「GN」、「C」列の「Start Hole」を先に入力しておきその後、D 列に「氏名」を書き出す方が良いと思います。
但し Ver11.00 から「GN」、「Start Hole」を自動で書き出しするツールを作り人数はグループごとにアンバランスでも編集でき「(9)「メンバー編集」 グループ STH_氏名編集」の項で説明しています。「(11)「メンバー編集」 スタートホール番号記入」については、1 グループの人数が固定です。
- 18) 「図 29 メンバー右クリック入力」図のダイアログと同じように設定した場合は同好会などの比較的人数が少ない場合です。「F」列の氏名を右クリックすると「氏名」だけが「D」列に書き出され F 列の氏名は空白になります。数十人もいる場合はスタートホールの番号を「(11)「メンバー編集」 スタートホール番号記入」を使用して一括編集ができます。
- 19) 「メンバー右クリック入力」ダイアログの「設定保存」を押すとプログラムが自動でフォルダ名「Setting_Data」の中に「Standard_Default.ini」を作り「メンバー右クリック入力」ダイアログに設定した状態を保存できます。
- 20) メンバー編集シートの入力が済んだ場合は前項で説明の「毎回入力データ」シートに移動して「(5)2)」～「(5)4)」を「毎回入力データ」シートに氏名データを取り込む処理を実行します。

(8)「メンバー編集」グループスタートホール編集

- 1 グループ内の人数が 6 人以下でも自由に No、GN、Start Hole を設定できます。「グラウ

ンドゴルフ」タブの「メンバー右クリック入力」をクリックすると「図 29 メンバー右クリック入力」図のダイアログを表示してスコアカードに記載の氏名をD列に配列した後、以下を実行することでA列 No、B列 GN、C列 Start Hole を一度に自動設定できます。1グループ内の人数が6人以下の場合でも編集できることに対応している点が特徴です。

- 1) 「(2)6」または「(2)10」項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020_04_07.xlsx」または「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」でも構わないのでいずれかを開いてください。
- 2) 「メンバー編集」シートを選択してください。

- 3) 「図 30 A～C列へ1グループ6人以下でも自由に設定」の図の「L」～「W」列で設定しますが「N」列のスタートホールは数字の入力や消去してはいけません。Aコート～Dコートの編集した値がA～C列に表示しています。

	A	B	C	D	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
1	1	1	1	川岡 秀雄	縦3Step	Aコート			Bコート			Cコート			Dコート			
2	2	1	1	伊藤 紀江		GN	人数	ST		GN	人数	ST	GN	人数	ST	GN	人数	ST
3	3	1	1	瀬山 秋子		GN	人数	H		GN	人数	H	GN	人数	H	GN	人数	H
4	4	1	1	青木 真理子		1	6		1			1			1			1
5	5	1	1	金子 芳美														
6	6	1	1	北村 千鶴子					2			2			2			2
7	7	2	3	長谷川 悦雄														
8	8	2	3	木村 素子		2	6		3			3			3			3
9	9	2	3	小泉 智恵子														
10	10	2	3	小林 昭子					4			4			4			4
11	11	2	3	佐々木 英明														
12	12	2	3	澤辺 寿子		3	6		5			5			5			5
13	13	3	5	神宮司 理沙														
14	14	3	5	山住 政人					6			6			6			6
15	15	3	5	谷口 浜子														
16	16	3	5	辻井 美津子		4	6		7			7			7			7
17	17	3	5	内山 恵美子														
18	18	3	5	中川 由加里		5	6		8			8			8			8
19	19	4	7	中山 孝実														

図 30 A～C列へ1グループ6人以下でも自由に設定

「K1」セルには「縦_3Step」の文字列がありこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「I」列と「J」列の間には列を追加できますが、右方向には列の追加はできません。「Aコート」～「Dコート」の文字は消しても構いません。Aコート2面などの変更は自由です。表は3列単位で表の追加などはできません。(A～Dコートで192人までプレーできるので十分と思います。)

表より下に文字列が有ってはいけません。表の最終行が何行なのかをExcelの最終行からプログラムが調査するからです。

- 4) スタートホール(ST H)の上段と下段にセルが分割しているのは上段3人、下段3人と分ける必要がある「図 33 大会用メンバーの書き出し」の図のような自治会別にそれぞれ3人の組み合わせをする場合には下段のセルに入力します。
- 5) Aコートの列で1番ホール上段の「GN」を1、「人数」4人とし2番ホール上段のGNを2、人数を3人などとホールごとの人数を変えることもできます。
- 6) データを設定した後に、リボンのコマンドアイコン「グループスタート編集」をクリックすると「図 31 グループ_スタート編集」が表示します。
- 7) 「A-C列クリア」：同図のA-C列に既に入力されている文字列をクリアします。
- 8) 「書き出し」：A列 No、B列 GN、C列 Start Hole を一度に自動設定します。
- 9) L列「GN」とM列「人数」の何れが空白セルの場合は「A～C」列に書き出しをしません。従って配布した時の表のようにL列「GN」の文字列を何時も残しておいてM列「人数」だけを消去したり、入力すればよいことになります。

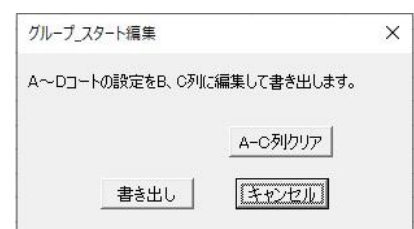


図 31 グループ_スタート編集

10) 「図 32 人数入力例」図で、左側、中央、右側の図はAコートで「L」「M」「N」列にGNと人数を変えたパターンを3種類ほど設定した図になります。氏名の列は30名入力してあるので人数については無視して、左側、中央、右側の各パターンの数字を「L」「M」「N」列に数字を設定して「グループスタート編集」

コマンドをクリックしてグループとスタートホールが表どおりに構成できるか実際にお試しできます。少人数でプレーをする場合、①の合計は11人の場合②の部分に人数が入力されているので当然「A～C」列に書き出しますが「A12:C19」セルをドラッグして「Delete」すればよいのです。(もちろん②の×の部分のM列の人数を消して「書き出し」ボタンをクリックしてもよいのですがプログラムの処理の状況を説明しています) 同図の中央の③の場合は

L	M	N	L	M	N	L	M	N
Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート	Aコート
GN	人数	ST	GN	人数	ST	GN	人数	ST
GN	人数	H	GN	人数	H	GN	人数	H
1	4	1	1		1	1	3	1
	①	2			2	7	3	2
2	4	3	2	5	3	10	3	3
		4		③	4	13	3	4
3	3	5	3	4	5	16	3	5
		6			6	19	3	6
④ ② ⑤		7	4	4	7	4	3	7
5	6	8	5		8	7	3	8
						10	3	9
						13	3	10
						16	3	11
						19	3	12
						2	3	13
						5	3	14

図 32 人数入力例

トップのホールの人数を消している例です。同図の右端の図は「図 33 大会用メンバーの書き出し」の図のチームを省略していますが、大会用の設定もできますがやはり大会用の表で作る方が簡単です。この表の目的は縦方向に読み出す表として縦列ごとにAコート、隣列がBコートのように使うようにして上段3人と下段3人を自治会ごとに分けるなどに考えれば、多人数に利用できます。下段を空白にすれば列ごとにAチーム、次の列がBチーム、次C、Dのようにできます。

11) 簡単なので実際に数値を入力して試してみてください。試した場合は<上書き保存>しなければ何を試しても大丈夫で、開いているファイルを壊すことはありません。

(9) 「メンバー編集」 グループSTH_氏名編集「大会用メンバー」の編集

大会、中大会のA列、B列、C列の設定に対応しています。設定は簡単です。

1) XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsxを開いてください。

	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	AG	AH	AI	AJ
1														
2		1	1	青木 真理子	あいうえ自治会	4	1	笠原 浩二	かきくけ自治会		19	4	石上 利雅	まみむめ自治会
3		1	1	秋丘 恵三 ①	あいうえ自治会	4	1	梶山 明人 ②	かきくけ自治会		19	4	丹羽 明	まみむめ自治会
4		1	1	浅岡 智宏	あいうえ自治会	4	1	加藤 一史	かきくけ自治会		19	4	内木 敦子	まみむめ自治会
5	Aチーム													
6		1	4	阿戸 葉子	あいうえ自治会	4	5	金井 和義	かきくけ自治会		19	7	川田 文雄	まみむめ自治会
7		1	4	安西 治香 ⑧	あいうえ自治会	4	5	金子 芳美	かきくけ自治会		19	7	菅田 幸信	まみむめ自治会
8		1	4	石宗 和歌子	あいうえ自治会	4	5	香山 和修	かきくけ自治会		19	7	中村 隆弘	まみむめ自治会
9														
10														
11		2	8	伊藤 紀江	あいうえ自治会	5	8	川岡 秀雄	かきくけ自治会		20	3	渡島 賢一	まみむめ自治会
12														
20		3	7	内山 恵美子	あいうえ自治会	6	7	黒江 文雄	かきくけ自治会		21	2	藤町 慎二	まみむめ自治会
21		3	7	榎本 大三	あいうえ自治会	6	7	小泉 智亜子	かきくけ自治会		21	2	細井 彰宏	まみむめ自治会
22		3	7	岡林 英秋	あいうえ自治会	6	7	河野 信吉	かきくけ自治会		21	2	上西 蔵	まみむめ自治会
23	Cチーム													
24		3	2	沖田 健助	あいうえ自治会	6	3	小坂 正彦	かきくけ自治会		21	5	米崎 和行	まみむめ自治会
25		3	2	海田 武彦	あいうえ自治会	6	3	小林 昭子	かきくけ自治会		21	5	中山 栄子	まみむめ自治会
26		3	2	角田 行男	あいうえ自治会	6	3	近藤 栄子	かきくけ自治会		21	5	佐山 芳伸	まみむめ自治会

図 33 大会用メンバーの書き出し

2) 「メンバー編集」シートから<メンバーシート取り込み>-<ファイルを開く>-<大会用メンバー.xlsx>を選択して<開く>をクリックしてください。

3) 「メンバー編集シート」の取り込み確認」を表示するので<取り込み>を押してください。同ファイルを「メンバー編集」シートに取り込みます。

4) 「図 33 大会用メンバーの書き出し」の図が取り込まれます。

5) 「I」～「AJ」列で設定しますが「GN」「Start Hole」（以後 ST_H とします）列は各列とも自動で設定できます。「氏名」「自治会名」と共に手入力しても構いません。「G1」セルには「横に 3 行単位行を最終行まで繰り返し」の文字列がありこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「H」列の文字は合っても無くても関係ありません。「E」列と「F」列の

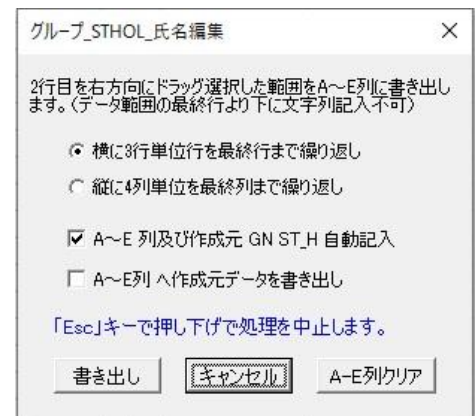


図 34 グループ STH_氏名編集

間には列を追加できますが、右方向には列の追加はきません。表は 4 列単位となっており最終列より右に 4 列単位で追加が可能です。

下方向にも 6 人単位で追加できます。行の空白は有り、または無は自由ですが有った方がわかり易いかもしれません。

表の下に文字列が有ってはいけません。何ゲームで終わっているかを Excel の最終行から調査するからです。3 行単位で①、②、～⑦、⑧、の順で「ST_H」の番号を振ります。縦に 6 人単位で「GN」番号を振ります。

6) 表の 2 行目を最終列迄選択して(処理範囲を示すため I2:AJ2 の範囲をドラッグします。

横一列にドラッグする操作は、水平方向にドラッグした範囲だけを書き出します。

(「例えば I2:T2」をドラッグした場合は I2 列～T2 列の範囲だけを A 列～E 列にデータを書き出します)

実行するにはリボンのコマンドアイコン「グループ STH_氏名編集」をクリックします。

7) 「図 34 グループ STH_氏名編集」図が表示します。

8) 「G1」セルには「横に 3 行単位行を最終行まで繰り返し」を基にコマンドボタンに黒丸が付くのでこの文字列を消してはいけません。下側は別の「中大会用メンバー.xlsx」を使用する場合で「(10)7」項で説明しています。

9) 「A～E 列および作成元 GN STH 自動記入」チェックマーク： は A～E 列に自動で「GN」と「ST_H」（スタートホール）を作るので、そのデータを「I～AH」に記入するという意味です。この試しをする場合は事前に作成元の「I:J」や「M:N」などの「GN」と「ST_H」をドラッグして「Delete」キーにより削除しておかないと作成元書いているかどうか分かりません。

10) 「A～E 列および作成元データ書き出し」チェックマーク： は「I～AJ」のデータをそのまま「A～E」に書き出すだけで作成元には当然記入しません。

11) 「A-E 列クリア」により消去して「書き出し」ボタンをクリックします。

(10) 「メンバー編集」 グループ STH_氏名編集「中大会用メンバー」の編集

中大会に対応しています。設定は簡単です。

- 1) 「(2)6)」または「(2)10)」項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」または「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」でも構わないのでいずれかを開いてください。
- 2) 「メンバー編集」シートから<メンバーシート取り込み>-<ファイルを開く>-<中大会用メンバー.xlsx>を選択して<開く>をクリックすると「メンバー編集シートの取り込み確認」メッセージを表示するので<取り込み>を押してしてください。
- 3) 同ファイルの「図 35 中大会用メンバーの書き出し」の図が取り込まれます。

	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA
1																				
2	1	1	川岡 秀雄	Aチーム	2	2	長谷川 悦雄	Bチーム	3	3	神宮司 理沙	Cチーム	4	4	中山 孝実	Dチーム	5	5	淺岡 智宏	Eチーム
3	1	1	伊藤 紀江		2	2	木村 素子		3	3	山住 政人		4	4	夏川 智実		5	5	野山 孝一	
4	1	1	瀬山 秋子		2	2	小泉 智亜子		3	3	谷口 浜子		4	4	石宗 和歌子		5	5	松山 義之	
5																				
6	1	1	青木 真理子		2	2	小林 昭子		3	3	辻井 美津子		4	4	浜崎 百合子		5	5	安田 由紀	
7	1	1	金子 芳美		2	2	佐々木 英明		3	3	内山 恵美子		4	4	平野 芳子		5	5	山本 秀子	
8	1	1	北村 千鶴子		2	2	澤辺 寿子		3	3	中川 由加里		4	4	藤木 真紀子		5	5	吉岡 由加里	

図 35 中大会用メンバーの書き出し

- 4) 「H」～「AA」列で設定しますが「GN」「Start Hole」列は各列とも自動で設定できます。「氏名」「チーム名」と共に手入力してあっても構いません。チーム名はトップ行だけで構いません。
- 9 行から下に 6 名単位で追加した場合は 6 名グループのトップの行にチーム名を書いてください。「G1」セルには「縦に 4 列単位を最終列まで繰り返し」の文字列がありこの文字列を検索してプログラムが処理を実行するので消去してはいけません。「E」列と「F」列の間には列を追加できますが、右方向には列の追加はできません。表は 4 列単位となっており最終列より右に 4 列単位で追加が可能です。下方向にも 6 人の単位で追加できます。行の空白の挿入は、自由ですが空白が有った方が判断上わかり易いと思います。表の下にコメントなど余計な文字列が有ってはいけません。何ゲームで終わっているかを Excel の最終行から調査するからです。同図の順で「GN」「ST_H」の番号を振ります。縦に 6 人単位で「GN」番号を振ります。下に 6 人単位で追加した場合は縦が優先で次の右の列はその後位置になるように番号を振ります。
- 5) 表の 2 行目を最終列迄選択（処理範囲を示すため H2:AA2 の範囲をドラッグ）して「コマンド」アイコン「グループ STH_氏名編集」をクリックして実行します。
- 6) 「図 36 グループ STH_氏名編集」の図が表示します。
- 7) 「G1」セルには「縦に 4 列単位を最終列まで繰り返し」の文字を基に同図ダイアログのコマンドボタンの下側の行に黒丸が付くのでこの文字列を消してはいけません。
- 8) チェックマークは前記「(9)9)」、「(9)10)」で説明したとおりの機能です。試しをする場合に作成元に記入する場合は事前に「H:I」の「列ボタン」をドラッグして Delete キーにより削除しておかないと書いたかどうか分かりません。
- 9) 「A-C 列クリア」により消去して「書き出し」ボ

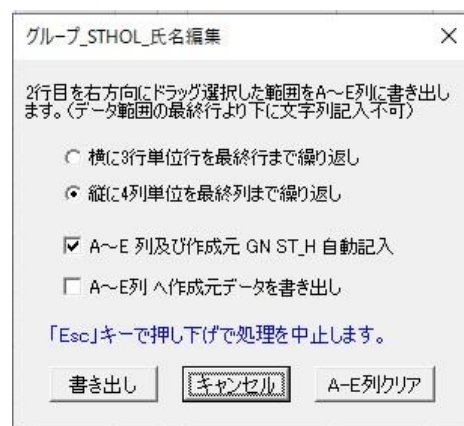


図 36 グループ STH_氏名編集

タンをクリックします。以上です。

(11)「メンバー編集」 スタートホール番号記入

- 1) 「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 既に「C」列にスタートホールの番号が振られているので「C:C」「列ボタン」を範囲選択して「Delete」キーを押して「C」列をすべて消去してください。
- 3) <スタートホール番号記入>をクリックします。
- 4) 「図 37 スタートホール番号記入」の図が表示するので実行ボタンを押します。
- 5) 「C」列にスタートホールの番号が振られます。
コンボボックス、ボタン等については説明ボタンを押してご覧ください。通常は同図の表示のとおりです。



図 37 スタートホール番号記入

(12)「メンバー編集」シートの取り込み

「メンバー」フォルダから「大会用メンバー.xlsx」などのメンバー構成シートと取り込み替えすることができます。

- 1) 「メンバー編集」シートで<メンバーシート取り込み>をクリックします。
- 2) 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開くので次の「メンバー」ファイルを選択します。(メンバーフォルダの中は次の4種類のメンバー編集シートを格納しています)
 1. 「大会用メンバー.xlsx」
 2. 「中大会用メンバー.xlsx」
 3. 「同好会用メンバー15名.xlsx」
 4. 「同好会用メンバー30名.xlsx」

上記の何れかのファイル（普通の競技は「同好会用メンバー.xlsx」です）を選択し<開く>

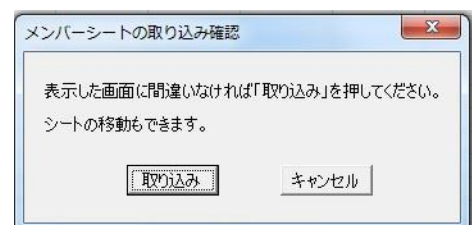


図 38 メンバーシート取り込み確認

ボタンを押すと「図 38 メンバーシート取り込み確認」の図が開くのでファイルの選択は間違いが無いかを確認した上で<取り込み>を押してください。

(13)「メンバー編集」氏名の書き出し

「氏名の書き出し」は「毎回入力データ」、「集計入力データ」シートなどから氏名の列を新しいブックに書き出します。名前を付けて適当なフォルダに保存する必要があります。現在は「メンバー編集シート」から「メンバーシート書き出し」を主に使用するの

であり使うことは無いと思います。

(14)「メンバー編集」メンバーシート書き出し

- 1) 「メンバー編集」シートのバックアップと、「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx」の<氏名の取込>で年度替わりに使いますがメンバーに変更がなければ使いません。
- 2) 「メンバー編集」シートで「メンバーシート書き出し」をクリックすると「図 39 スコア

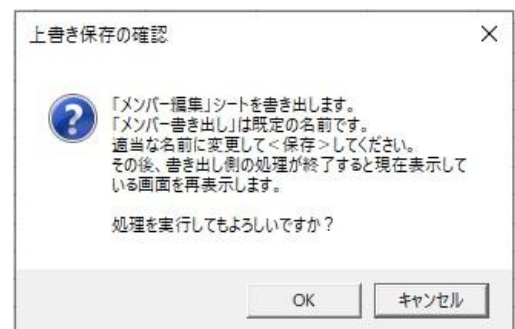


図 39 スコアカードへ転記確認

カードへ転記確認」が表示するので<OK>をクリックします。

- 3) メンバーフォルダを開いて「図 40 メンバー書き出し名前を付けて保存ダイアログ」が開きデフォルトで、ファイル名「メンバー書き出し」と表示するので適切な名前を付けて<保存>を押します。サンプルシートでは既に「同好会用メンバー15名.xlsx」「同好会用メンバー30名.xlsx」などが書き出ししてあります。

(15)「メンバー編集」 スコアカードへ転記

同好会以外のグラウンドゴルフの大会などの場合「メンバー編集」のリボンのコマンド<スコアカードへ転記>を使用して「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」に書き出して自動でスコアカードを作ることでも非常に便利です。操作は次のとおりです。

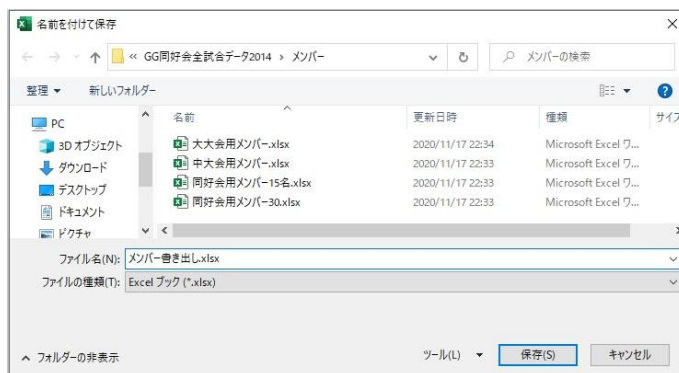


図 40 メンバー書き出し名前を付けて保存ダイアログ

- 1) 事前に「図 17 ユーザー用フォルダの作り方」の下図のユーザー用③の「スコアカード」がコピー&ペーストしてあると思います。
- 2) スコアカードフォルダ内の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx」を開きリボンのコマンドアイコンから「表を初期化」を実行して「保存」して置きます
- 3) 「(6)「メンバー編集」シート」で説明のリボンのコマンドアイコン「スコアカードへ転記」をクリックすると「スコアカードへ転記」ダイアログが表示するので<OK>を押します。
- 4) ¥ドキュメント¥元気 GG 同好会¥スコアカード¥ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsx を表示するのでクリックし<開く>を押すと「図 41 スコアカードへ転記」の左側の図で「スコアカード転記」の図が開きます。
- 5) <データ転記>を押し同図右側の「処理終了」ダイアログで<OK>を押すと自動でスコアカードに記載します。

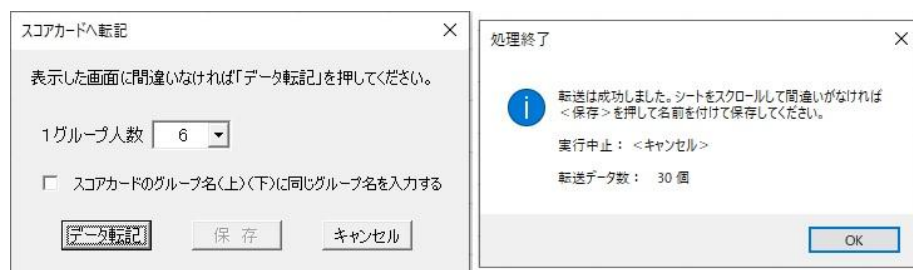


図 41 スコアカードへ転記

- 6) さらに「図 41 スコアカードへ転記」の左側の図で「スコアカード転記」「保存」の文字が薄い文字から、はっきりと表示するので<保存>ボタンを押します。
- 7) ①の「イベント用スコアカード」のフォルダを自動で作成しその中に「図 43 スコアカード保存ダイアログ」が表示しデフォルトのファイル名②は「大会スコアカード」です。

適切な名前を付けて③<保存>を押してください。

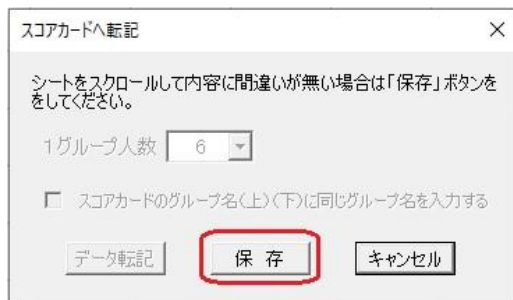


図 42 スコアカードへ転記保存

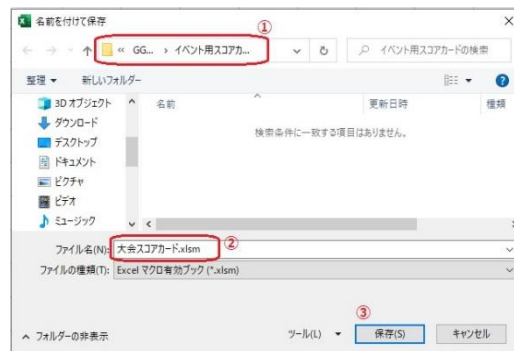


図 43 スコアカード保存ダイアログ

- 8) 保存が済めば「以下のファイルを保存しました。～」のメッセージを表示して<OK>を押すと元の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」の「メンバー編集」画面に戻ります。
- 9) 保存した「イベント用スコアカード」のフォルダ内のファイルはユーザーに合わせて変更の上でご使用ください。
- 10) 「D:¥ドキュメント¥元気 GG 同好会¥イベント用スコアカード¥大会スコアカード. xlsm」ファイルが作られてスコアカードが出来上がります。
- 11) 「大会スコアカード. xlsm」のファイル名はユーザーが自由に変更できます。
- 12) 印刷して大会で各グループに配布してください。
- 13) 試しが済んだ場合は「D:¥ドキュメント¥元気 GG 同好会¥イベント用スコアカード」フォルダを右クリックから<削除>をクリックし中のファイルごと削除してください。
- 14) XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsxを終了して上記で「9)」で保存した「イベント用スコアカード」フォルダ内の名前を変更していない場合のデフォルトのファイル名「メンバー編集. xlsm」を開いた場合、1回目の試合しか表示していませんが「図 44 スコアカード」の図のように「スコアカード」タブで**赤枠**の<日付競技大会名>をクリックして開くと「図 45 日付と競技大会名の入力」の図が開くので③のラウンドの数値を変えれば何ラウンドでも印刷できます。

①は日付、②は大会名の変更ができます。（スコアカードに書き出す場合の大会名は前記リボンのコマンド「スコアカードへ転記」の操作をした場合は「毎回入力データ」シートの大会名が記入されます。）

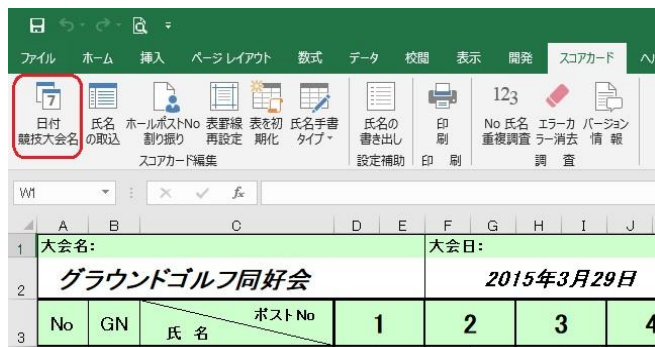


図 44 スコアカード

スコアカードの利用方法

添付ファイルの中に「スコア

ード手書き用紙」本プログラムを使用する場合に入力し易いオリジナルスコアカードが

用意してあります。「スコアカードの使い方.txt」、
「エコ型手書き_少人数スコアカード記入方法.docx」
をご覧ください。

普通とは変わった用紙ですので説明すると用紙の節約のため、1グループ8名が記入できるスコアカード

図 45 日付と競技大会名の入力

ですが8名でプレーするのではなく少人数でプレーする場合は4名1組でプレーする場合上段と下段に2回分の試合が記入でき裏面印刷をして表裏で記入すると1枚で済むためこの表を作っており大変便利です。

(16) 「毎回入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力

本プログラムを使用する場合に入力し易い上記の「スコアカードの利用方法」に記載したオリジナルスコアカードが用意してあります。

- 1) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いて「毎回入力データ」シートを表示してください。
- 2) 28行の「長谷川 悦雄」を選択して、氏名の上で右クリックする、または「データ入力」コマンドボタンをクリックしてください。

- 3) 「図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力」のように表示します。（「氏名の取込」コマンドを実行した場合はいきなりダイアログが表示してすぐに入力が可能になります）

図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力

- 4) 「毎回入力データ」シートの表は1～8ホールまで順番です。シートの28～31行のE～L列の打数の並び順で入力するのではなく、スコアカードのスタートホールが3番から始まっている場合はその順で入力しないと難しくて間違えて入力します。

「図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力」の図の①のスタートホールを見ると3、4、5、6、7、8、1、2のようにスタートホール順に「データ入力」ダイアログボックスでスタートホールの番号を入れ替え、入力しやすくしています。

- 5) 「図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力」図の「データ入力」ダイアログボックスで閉じるボタン「図」または<キャンセル>を押してください。

- 6) 試して見るためには
「図 47 Delete キーで打数を消去」の図のように「毎回入力データ」シートのセル

	No	GN	Start Hole	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8
28												
29												
30	7	2	3	長谷川 悦雄								
31												

図 47 Delete キーで打数を消去

「E28」～「L31」をドラッグして入力されているスコアを「Delete」キーで消去してください。（実際の運用ではプログラムがリボンのコマンド「氏名の取り込み」をクリ

ックするまたは、コマンド「日付競技大会名」を実行し保存を押すとシートのデータを消去します)

- 7) 28 行の「長谷川 悦雄」の上で右クリックしてください。
- 8) 「[図 48 データ入力をする直前](#)」の図のように 1R (1 ラウンド) の 3 番ホールでカーソルが点滅しています。(この図ではカーソルは見えませんが…)

	3	4	5	6	7	8	1	2	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R														<input type="checkbox"/>
2R														<input type="checkbox"/>
3R														<input type="checkbox"/>
4R														<input type="checkbox"/>
Total														

図 48 データ入力をする直前

- 9) 「[図 49 データ入力ダイアログ 1R データ入力後](#)」のように「1234」と入力、そのまま「Enter」キーを押さないで続けて「4321」と入力してください。
- 10) 「[図 49 データ入力ダイアログ 1R データ入力後](#)」図の<セルへ転送>ボタンがフォーカスします。フォーカスした状態で「Enter」を押すと次のプレイヤーの打数を表示します。

(木村 素子は現在データがフルに入っているのので<セルへ転送>がフォーカスするのですが、「[図 47 Delete キーで打数を消去](#)」のように全打数が空白の場合にダイアログを起動すると「[図 48 データ入力をする直前](#)」図のような表示になります。)

	3	4	5	6	7	8	1	2	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R	1	2	3	4	4	3	2	1	20	2	2	2	14	<input type="checkbox"/>
2R														<input type="checkbox"/>
3R														<input type="checkbox"/>
4R														<input type="checkbox"/>
Total									20	2	2	2	14	

図 49 データ入力ダイアログ 1R データ入力後

- 11) 「[図 49 データ入力ダイアログ 1R データ入力後](#)」をもう少し詳しく説明します。
 - a. 打数を入力する場合はスコアカードを見て 4 桁ずつ記憶し 1234 のように入力すると図の「▲」印の青いラインの上まで入力します。続けてスコアカードから 4 桁を暗記して 4321 のように入力すると 1 ラウンドが 2 回の入力ができます。勿論 8 ケタを暗記して一度で入力してもかまいません。入力のこつは東京都の 4 桁局番と電話番号を入力するように「1234 の 4321」と入力すると段々と慣れて 8 桁が一度で入力できるかも知れません。
 - b. 「試合打切」スピンボタンの説明をします。「毎回入力データ」シートは総打数の入力で 4 ラウンドまで集計できますが次項のような状況があるため試合の打切り回数を「0」～「4」までの範囲で設定できます。
 - c. 大会などの場合は試合会場で 1R の試合が済むとすぐに 1R だけのスコアを入力して次のラウンドの入力に備えて全試合が終われば最終ラウンドのスコアをすぐに入力する方法で、つまり 1 ラウンド (1 ゲーム) が終了するとスコアカードは回収できおりプレイヤーが 2 ラウンドの試合をしている間にパソコンでは試合の結果を入力できます。スピンボタンを「0」に設定した場合は、1R (ラウンド) の入力が終わると直ぐに「Enter」をフォーカスし、打鍵すると直ぐに次のプレイヤーの名前

を取り込み、1Rの最初の入力ボックスにカーソルが移動するので直ぐに打数の入力
ができます。(「[試合打切](#)」を参照)

- d. 同好会などでグループを組んで試合をする場合は一般に試合が済んでから自宅に持ち帰って集計をすると思います。この場合はスコアカードを見て試合数(試合のラウンド数)に合わせてスピンのボタンは「1」～「4」の数字を変更してください。スコアカードを見て1人のプレイヤーの1R～4Rをまとめて入力する方が入力しやすいです。そのためスピンのボタンを試合最大試合回数に合わせて置くと連続して1人の入力だけができます。

例えばスピンのボタンを「2」していた場合は1人の入力が2Rで終わると次の人の氏名を取り込みます。

- e. チェックボックスは気にしないでください。ラウンドに合わせて自動移動します。目印と考えても良いでしょう。

(17)「毎回入力データ」「データ入力」コマンド ダイアログボックス説明

No: 毎回入力データシートの「A」列Noを取り込みます。

(以下の説明ではシート名を省略します。)

GN: 「B」列「GN」を取り込みます。

スタートホール: 「C」列GNを取り込みます。

氏名: 「D」列氏名を取り込みます。

1R～3R 1～8 ボックス: 「E」～「L」列の各ラウンドの打数を取り込みます。

スタートホールスピンのボタン: 打数を入力する場合、入力したスタートホールの番号を先頭に表示してスコアカードとの照合をしやすくして入力できます。(1～8番の打数入力ボックスをダブルクリックした場合も同じ機能が使用できます。セルにデータを転送する場合はホール番号を手動で順番に戻す必要はありません)

「[図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力](#)」図を参照

取り込みボタン: ボタンをクリックすることでセルの内容を再取り込みできます。

キャンセルボタン: データをセルに転送しないでダイアログボックスを閉じます。

セルへ転送: ダイアログボックスに入力したデータをシート上のセルに転送します。

打数スキップ: 打数入力以前の準備で氏名だけ入力する場合は、チェックマークを「ON」にして入力します。(シートへ入力が済んでいる場合は使用しません)

1R_Input～3R_Input チェックボックス: 打数を入力する場合、ラウンドの位置にカーソルが自動移動します。ラウンド位置の目印と考えても結構です。

試合打切: 1ラウンドの入力が済むと次のプレイヤーの氏名を取り込みたい場合はスピンのボタンを「0」にします。

次の試合で公表のための集計を自宅で一括集計する場合は、一人のプレイヤーについて全ラウンドの入力が済んで次のプレイヤーの氏名を取り込む場合はスピンのボタンを「1」～「4」ラウンドの試合数に合わせてください。

2桁入力: 打数をボックスに入力する場合、1～9の数字を入力することが普通です。

シートのセルに入力する場合は1～9の数字以外に「Enter」キーを押して入力を決定し

ますが、「データ入力」ダイアログボックスでは1桁の数字を押すと後位のセルに自動的に移動します。（「Enter」キーを押す必要がありません）そのため、石や側溝など配置した難しいコースの場合で10点以上の2桁になる場合はこのキーを押して2桁の数字を入力できます。次にこのキーを押すまではキーを押したままの状態でもロックしますので再度このキーを押して解除してください。

(18) 「毎回入力データ」ダイアログボックスのショートカットキー等の説明

「図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力」図のショートカットキー操作

Ctrl+Enter： 打数の入力中にこのキーを押すと「セルへ転送」ボタンをフォーカス（ボタンがEnterキーで直ぐ押せる状態）します。

Tab キー： 打数を入力中にこのキーを押すと次のセルへステップします。

Shift+Tab： 打数を入力中にこのキーを押すと逆方向に入力ボックスをステップできます。

「→」「←」「↑」「↓」： 打数の入力ボックスでこれらのキーを押すと押した方向に入力ボックスを移動できます。

Home： 打数を入力中にこのキーを押すと同じラウンドの最も左端にカーソルが移動します。（デスクトップパソコンの場合などで有効）

End： 打数を入力中にこのキーを押すと同じラウンドの最も右端にカーソルが移動します。（テンキーがあるパソコンの場合はこのキーが有効）

参考： 「(5)」では「氏名の取込」によりNo、GN、Start Hole、氏名をシートに直接取り込む説明をしました。

別の方法で「図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力」図の「データ入力」ダイアログボックスを使用して「打数スキップ」ボタンを押して氏名だけを連続してシートに直接入力することもできます。しかし手間が掛かるため、「(5)」で説明の「氏名の取込」により入力されることを推奨します。後述する「(19)」の項の「集計入力データ」シートの場合でも同様です。

(19) 「集計入力データ」ダイアログボックスを使用した「打数」の入力

「集計入力データ」シートの場合は順位計算だけを「点数順集計表に表示したい場合は9ホール以上の競技にも対応でき競技中にスコアカードで各ホールの実打以外にH1、2打、3打ごとの発生個数を手計算したものを1ラウンドから4ラウンドごとに（2ラウンドで打切りは可能）入力する方法です。スコアカードが対応しているなら試合の総合計だけを1Rだけに入力してもかまいません。

氏名の入力は「(5)「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む」で説明している「毎回入力データ」の文字を「集計入力データ」に置き換えてご覧ください。実行する場合は「集計入力データ」シートから<氏名の取込>を選択してください。また「GG_同好会メンバー2014年度.xlsm」の「メンバー編集」シートは行タイトルがなくA列No、B列GN、C列Start Hole（スタートホール）、D列氏名、の対応付けですが「集計入力データ」シートにはStart Holeは無いので「GG_同好会メンバー2014年度.xlsm」の「メンバー編集」シートを「集計入力データ」で使用する場合はこ

の列に文字がある場合は無視し「毎回入力データ」シートを使わないで「集計入力データ」シート専用で使用する場合は「C」列が未入力（空白）であっても動作しますが「C」列を「列ボタン」で削除してはいけません。

(20) 「集計入力データ」「データ入力」コマンド ダイアログボックス説明

- 1) 「集計入力データ」シートの氏名のセルを右クリックするかまたはツールボタンの「データ入力」をクリックした場合は「図 50 集計シート「データ入力」ダイアログ」図のダイアログボックスを表示します。
- 2) ボタンの説明やショートカットキーの説明、並びに操作の説明は「毎回入力データ」シートの「データ入力」ダイアログボックスと殆ど同じなので省略し、次項で違う点だけを説明します。

実打： 1R、2R、3R、4R についてそれぞれのラウンドの各ホールの合計を入力します。



	実打	H1	2打	3打	合計	Input
1R	23		2	5	23	<input type="checkbox"/>
2R	23		2	5	23	<input type="checkbox"/>
3R	23	1	1	4	20	<input type="checkbox"/>
4R	16	2	4	2	10	<input type="checkbox"/>
Total	85	3	9	16	76	

図 50 集計シート「データ入力」ダイアログ

H1： 上記同様にホールインワンが出た数を入力します。

2 打： 上記同様に 2 打が出た数を入力します。

3 打： 上記同様に 3 打が出た数を入力します。

試合打ち： 「(17)」の「試合打ち」の項と同じです。

(21) 行の挿入と削除

プレイヤーを増減する場合、行番号を直接ドラッグした操作をしないで「図 51 プレイヤーの追加・削除」図を表示して行の増減をしてください。データを入力する「毎回入力データ」シートの場合は表の中には「式」や「セルの結合」などの書式が設定してあるので行追加の操作が面倒であり、以下の操作はセルの結合による「書式設定」や「式」の入力、「No」の付け替えなどをすべて自動実行します。（但しグループの付け替えはしないので新規開始／追加／変更＞を使用しますが、この場合もスタートホールの同時付け替えはしないので行の挿入削除はグループ内の各所に少人数を追加する程度で使用し、大きな変更は「氏名の取込」をクリックで変更した方が簡単です。）

集計入力データシートにもこの機能があります。

- 1) 行を挿入する場合は挿入する行の「A」列で右クリックすると、「図 51 プレイヤーの追加・削除」図を表示します。挿入数を変更する場合はスピンボタンまたは直接数字を変更してください。複数セルをドラッグして右クリックした場合の表示は、「挿入数」：に複数セル分の数値「n」を表示します。
- 2) 行を削除する場合は「A」列をドラッグした範囲を「削除数」に表示します。「削除数」ボックスの変更はできないので変更する場合はドラッグし直してください。行の削除は「行削除」ボタンを押します。

参考： 最下部にプレイヤーを追加する場合は上記で説明の＜新規開始／追加／変更＞から

「新規開始／追加／変更」ダイアログボックスを表示して「追加変更」ボタンが黒丸であることを確認し、表示している「競技者人数」を追加する人数だけ「増加」とすると増加分だけ最終行に追加します。最終行 + 1

(最終罫線の下) で「1」セルをクリックまた

はドラッグして右クリックすると「図 51 プレイヤーの追加・削除」図を表示して追加できます。(「メンバー編集」シートを使用して入力する場合は使うことはありません)

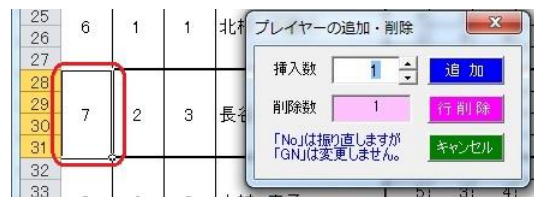


図 51 プレイヤーの追加・削除

(22) 集計順位を計算して表示するには

- 1) 「毎回入力データ」シートにすべてのデータを入力した場合はリボンのコマンドアイコン＜データ集計＞をクリックすると「図 52 データ集計」図を表示します。＜OK＞ボタンを押すと「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」「グループ別のホールインワン順」シートのすべてを一気に計算して「点数順集計表」シートに表示します。

- 2) 「集計入力データ」シートへ記入する。

チェックマーク： 通常は OFF で使用します。

- 3) 「グループ別集計表」シートについて表の見方を説明します。

(他のシートは後述する同順位が発生した場合以外は上から昇順に順位を表示するので簡単に分かります)

「XL_4R 同好会 2015 04 01.xls」を例に説明しますが「グ

グループ別集計表」シートの「1」位は、5 行から 10 行までのグループになります。「A」列の「小計」までが該当し「B」列を見ると「1」番のグループになります。

「Z」列を見ると上から下方向に順位の番号が大きくなります。

これらのグループ順位を分かり易くまとめたものが「41」行に「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」として、この行の下に順位のグループが「A」列の「No」に「小計」と記入し、「B」列の「GN」列にグループ番号が順番に表示しています。「1」位は「1」グループ、以下 2 位が「3」のグループで最後が「4」グループと表示しています。

- 4) 「グループ別のホールインワン順」シートでも上記同様の見方をしてください。

(23) 「点数順集計表」シートに同順位が発生した場合

「点数順集計表」シートで順位を決定する方法は、以下の取り決めです。

- a. 合計の少ない方が、順位が上です。
- b. 合計が、同点である場合は H1 (1 打のホールインワン) 2 打、3 打の回数が多い方が順位を上位 (3 打より 2 打、それよりも 1 打が多い方が上位) とします。
- c. 上記すべて完全に一致の場合は「2 16)」項で説明のニアピン競技を行います。

参考 1： 添付したサンプルファイル「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」の「集計表」シ



図 52 データ集計

ートには以下で説明する同順位が発生した場合に「ニアピン」競技のデータを入力する以前の状態です。(理由はニアピンによる処理をしたファイルを添付すると同順位に対する赤色と緑色のカラー表示が消えるため同順位の説明が難しくなるためです)

参考2: 「点数順集計表」、「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別ホールインワン順」シートでは「Delete」キーがすべてのセルで有効であり、セルを「弾く」などの対策がしてありませんので、「ニアピン」順位を入力する場合、誤ってセルの「消去」をしないように気を付けてください。直後であれば「元に戻す」が有効です。

参考3: 同順位が発生したことにより「ニアピン」カラーが付いている場合に、「字幕と罫線引き」を実行するとニアピンのカラーが消えるため実行禁止です。

理由はすべてのシートのニアピン競技をして順位を決定し終わった場合は問題ないのですが一部のシートでニアピン競技が済んでいないシートがある場合は再度<データ集計>を実行するとニアピン競技が済んでいるシートがニアピン競技の前の状態に戻るため再度<データ集計>を実行することもできなくなりニアピン競技の結果の氏名や順位のメモを取って<データ集計>再実行するなどのことになるためです。

(字幕と罫線引き)では「実行確認」画面でこれらの説明をしています)

上記「a」または「b」のようにして細かく計算させていますが、多くの場合、上位のプレイヤーは1ホールを3打以内でゴールすることの外、プレーを2ラウンドで終了する場合などでプレーの回数が少ないほど同順が発生する確率が高くなります。

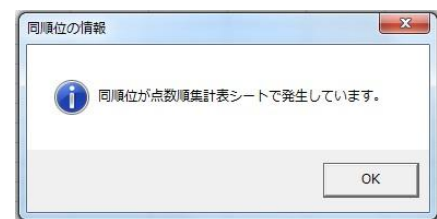


図 53 同順位が発生した場合

「毎回入力データ」シートから<データ集計>をクリックして「点数順集計表」シートで同順位が発生した場合は「図 53 同順位が発生した場合」のようなメッセージを表示すると共にシートには「図 54 点数準シートの順位重複」のように同順位となった行の「ニアピン」の列 (Y 列) に同順位のグループごとに「赤色」と「緑色」のカラーを交互にプログラムが付けて表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
1	点数順集計表																										
2	競技大会: 2015年03月29日(日)				グラウンドゴルフ同好会																						
3	No	GN	氏名	1R				2R				3R				4R				Total				合計	ニアピン	順位	
4				実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打				
5	3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25		3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72		1	
6	18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19		5	3	21	1	2	4	19		5	3	78	2	16	12	72		2	
13	10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19		5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82		9	
14	17	3	内山 恵美子	23		2	5	22		3	4	22		2	6	18	1	4	3	85	1	11	18	82		10	
15	25	5	浅岡 智宏	22		3	4	22		2	6	19	1	3	4	22		3	4	85	1	11	18	82		10	
16	11	2	佐々木 英明	20	1	2	5	24		3	3	21		3	5	22		3	4	87	1	11	17	84		12	
17	29	5	山本 秀子	21	1	2	4	22		2	6	21		4	3	23		3	4	87	1	11	17	84		12	
18	14	3	山住 敦人	21	1	1	6	20		4	4	23		2	5	23		2	5	87	1	9	20	84		14	
19	12	2	澤辺 寿子	20		4	4	21		4	3	22		3	4	21		5	1	84	16	16	12	84		15	
20	20	4	夏川 智美	23		2	5	21	1	1	6	21		4	3	23		1	7	88	1	8	21	85		16	
21	21	4	石宗 和歌子	26		1	4	20	1	2	5	21		4	3	22		2	6	89	1	9	18	86		17	

図 54 点数準シートの順位重複

同様に「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別ホールインワン順」シートに同順位がある場合も赤色と緑色を交互に色付けして同順が発生していることを示します。

同順位が発生しない場合は「データ集計が終了しました!」と表示します。

このように「点数順集計表」シートや他のシートで「Y」列にカラーを表示する同順位が発生した場合はカラーエリアごと以下で説明の「ニアピン」競技をして順位を決め各色のブロックごとに順位番号を入力して同順位が発生しないよう順位を振り直します。

◆「点数順集計表」シートの場合：

以下の操作は同順位をなくしたい場合にだけであって必要に応じて実行してください。

- 1) 同順位が「点数順集計表」シートで発生した場合は、まず、「点数順集計表」シートから「ニアピン」競技の処理をしてください。

理由は「点数順集計表」シートで＜データ集計＞を押した場合は後位のシートクリアし「点数順集計表」シートの結果を「ホールインワン集計表」、「グループ別集計表」、「グループ別ホールインワン順」シートでも計算し直すためです。

※ ニアピン競技をした場合の処理方法：

- 1) カラーが付いた Z 列のセルの同順位番号ごとのグループで集合します。

この図では順位が 10 番の赤色のグループと順位 12 番の緑色のグループがそれぞれニアピン競技集合します。

各、順位ごとにホールポストに向かって球を打ち、もっとも近い人を 1 番として降位の人を老番として順次「Y」列の該当者位置に番号を入力します。

- 2) 同図では No25 の浅岡 智宏プレイヤーがホールポストに近い場合は「図

	A	B	C	T	U	V	W	X	Y	Z
1	点数順集計表									
2	競技大会: 2015年03月29日(日)									
3	No	GN	氏 名	Total				合計	ニアピン	順位
4				実打	H1	2打	3打			
12	26	5	野山 孝一	84	1	17	7	81		8
13	10	2	小林 昭子	85	1	13	14	82		9
14	17	3	内山 恵美子	85	1	11	18	82		10
15	25	5	浅岡 智宏	85	1	11	18	82		10
16	11	2	佐々木 英明	87	1	11	17	84		12
17	29	5	山本 秀子	87	1	11	17	84		12
18	14	3	山住 政人	87	1	9	20	84		14
19	12	2	澤辺 寿子	84		16	12	84		15
20	20	4	夏川 智実	88	1	8	21	85		16

図 55 ニアピン入力

55 ニアピン入力」図のようにセル

Y15 に「1」、距離の遠かった No17 の内山 恵美子プレイヤーは Y14 セルに「2」、という具合に「Y」列の赤色に順位番号を入力し、別の緑色のグループでは佐々木 英明プレイヤーが近かったので Y16 セルに「1」、山本 秀子プレイヤーは Y17 セルに「2」などのようにホールポストに距離の近い人から順に昇順の番号を入力して行きます。例えば 4 人の同順位がある場合は重複が無いようにその人のニアピン競技の順に、「Y」列に 2、1、4、3 の番号を入力します。(番号が少ない方がニアピンの距離が短く順位が上です)

- 3) 「点数順集計表」シートのすべてのカラーグループ別に順位番号を入力し終わると同シート内のコマンド＜データ集計＞を押すと「点数順集計表」シートの Z 列の順位がすべて 1 番から重複無しで末尾まで番号を振り直しカラーも消えます。この時 Y 列はすべて若い番号順になり上記の「2」の例ではセル Y14 が「1」、Y15 が「2」、緑色のグループの順位はそのまま入れ替わりません。例えば 4 人が同順位になったグループの場合は並べ替えられて Y 列は上から順に 1、2、3、4、のようになります。

注意： 「点数順集計表」シートで「ニアピン」列に入力しリボンのコマンド＜データ集計＞をクリックにより結果が出た場合は、「毎回入力データ」シートや「集計入力データ」シートから＜データ集計＞を押すと「下記シートでニアピン順位番号が入力されています」と注意メッセージを表示します。それでも押すと「点数順集計表」シートは最初の

順位に戻ってしまうので故意以外はうっかりクリックしないようにご注意ください。

◆「ホールインワン集計表」シートの場合：

「点数順集計表」シートで<データ集計>を押して処理が済んだ場合は降位にあるすべてのシートにその処理結果が反映されて同順位などの状態が変わります。次に、「ホールインワン集計表」シートのニアピンの列にカラーが付いている場合は各カラーのブロックごとにニアピン競技をしてその結果により同列に順位番号を入力してください。次に「ホールインワン集計表」シートから<データ集計>を押すとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。その結果は降位にあるシートには反映しません。「ホールインワン集計表」シートだけ処理します。順位が決定した場合「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

◆「グループ別集計表」シートの場合：

上記の処理が済んだ場合、次は、「グループ別集計表」シートでは同順位がある場合は「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」の文字がより下の、ニアピンの列にカラーを付けます。カラーが付いている場合は「***** グループ別の小計順まとめリスト *****」の文字より上側に表示している各グループの最上位がグループの高順位者ですから同順のグループのみ、この中からニアピン競技をして該当する位置のカラーエリアに順位番号を入力してください。次に「グループ別集計表」シートから<データ集計>を実行するとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。その結果は降位にあるシートには反映しません。「グループ別集計表」シートだけ処理します。順位が決定した場合は「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

◆「グループ別のホールインワン順」シートの場合：

このシートの場合も他のシートと同様です。カラーが付いているグループ番号から「グループ別集計表」シートの上部の方のデータを参考にホールインワンが多い人がニアピン競技をしてその順位を入力し、「グループ別のホールインワン順」シートから<データ集計>を押すとプログラムはニアピンの番号を基に順位番号を振り直します。順位が決定した場合は「このシートに対するデータ集計が終了しました！」と表示します。

参考： 同順位があまりにも多い場合は上位 20 番以内のみニアピン競技を行いそれ以下は同順位のまま公表しますなどしないとニアピン競技に時間が掛かり、公表が遅れるという事態になる可能性がありますのでプレイヤーに事前にこのことを周知しておく必要があるかも知れません。

(24) 印刷

「点数順集計表」シートを印刷する場合に「印刷」をクリックすると「図 56 印刷」の図が表示します。

プリンターの①「名前」を選択して②の<OK>を押します。

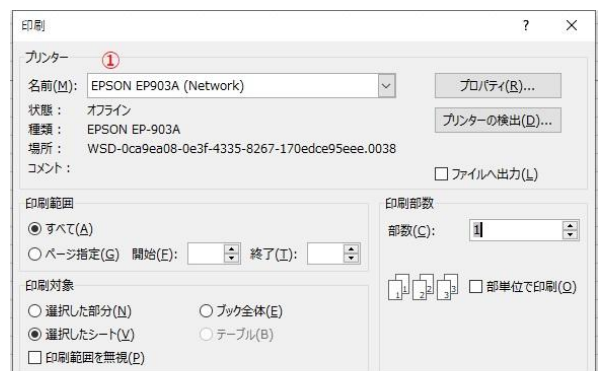


図 56 印刷

(25) Z4 全試合スコア集計

XL_Z4 全試合スコア集計へ移動します。リボンのコマンド<データ集計>により「点数順集計表」シートの集計が終了し確認も済んだ場合は、「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」（「*」は年号）を起動して「年間」「月間」「週間」「四半期」「優勝回数」などの集計をすることができます。当説明については添付の「XL_Z4 全試合スコア集計説明書」をご覧ください。簡略版説明書は本説明書の「[8 \(5\)XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム](#)」に記載しています。

この項では本プログラムから直接「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」に移動する手順までを記述します。

- 1) Z4 全試合スコア集計へ移動した場合は、現在使用中のファイルは閉じてしまうので「上書き保存」してください。（但し、「上書き保存」を忘れても自動保存をします）
- 2) <Z4 全試合スコア集計移動>をクリックしてください。
- 3) 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開くので「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」を選択して<開く>ボタンを押します。
- 4) 「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」を開きます。
- 5) これ以降は別途「XL_Z4 全試合スコア集計説明書」をご覧ください。

(26) 多人数による大会での集計方法

<GG ファイル取り込み>の説明です。

競技前に事前の準備が必要です。

概要： 多勢で競技する場合パソコンを複数台用意して打数入力だけを分散作業します。

データの入力さえすれば計算集計はリアルタイムに処理できます。

作業の概要ですが、打数などを複数のパソコンで分担して入力するため事前に「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートに NO、GN、Start Hole、氏名、だけが入力されたデータをグループごとに分割して USB フラッシュメモリーなどにより複数のデータ入力用パソコンに配布します。（添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を流用して 30 人と致しました。）

以下で説明するは Web 配布する関係でファイルサイズを小さくしたため人数が少ないのですが、総勢 30 人のプレイヤーのデータを 3 台のパソコンに分割して配布して打数を入力した後、USB メモリで最終集計用パソコンに返して一旦保存します。

最終集計用パソコンでは<GG ファイル取り込み>によりグループごとに分割されたデータファイルをリアルタイムで取り込んで結合します。次に<データ集計>を実行して集計します。

注意事項： 大きな大会での失敗は許されません。ぶっつけ本番は危険ですから事前に操作を熟知し訓練や確認が必要です。

- 1) USB フラッシュメモリーのドライバーのインストールや動作の確認が必要です。
- 2) 事前に本プログラムを使用し添付の「[3 \(1\) 11 「XL_4R_G 分散集計サンプル」](#)」を実践してみる必要があります。パソコンのバージョンによる問題などを考慮し、最終集計用のパソコンではプリンターによる印刷の確認も必要です。

3) 大会での電源の確保、プリンター、テーブルタップや延長コードも必要です。

事前準備：

- 1) 「図 57 分散集計説明図事前準備」は「図 8 配布ファイルの内容」図の一部を貼り付けたもので説明をするための参考用ファイルです。
- 2) 実際の試合で実行する場合は、フォルダ名などはユーザーの分かり易いように自由に付けてください。
- 3) 本競技を行う場合に事前準備で使用するファイルは何時もユーザーが試合の集計に使用するデータファイルで作ることができます。

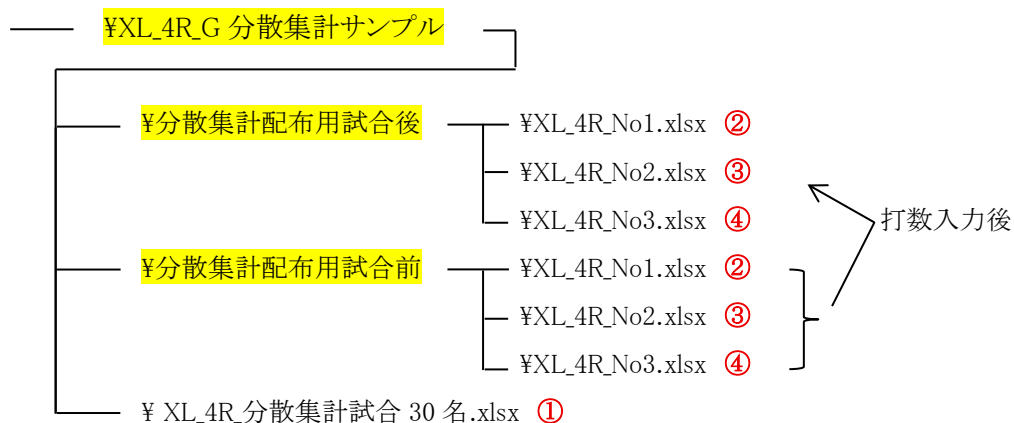


図 57 分散集計説明図

- 4) この説明では添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」を使用して作っています。「XL_4R_G 分散集計サンプル」フォルダの中にある①の「XL_4R_分散集計試合 30 名. xlsx」を開いて見てください。
添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」の毎回入力データシートのセル「E4:L123」の範囲をドラッグしてデータをクリアしたものです。（「毎回入力データ」シート以外にデータがないのはWeb 配布する関係で少しでもファイルサイズを少なくしたためでユーザーの使用時においては後位のシートでは元のデータが残っていてもかまいません。＜データ集計＞を実行した場合にこのようにプログラムがすべてクリアして集計します。後に説明のファイルについても同様、他のシートはデータがあってもかまいません。
- 5) ①の「XL_4R_分散集計試合 30 名. xlsx」の行番号をドラッグして10人分ずつに3分割して保存したのが②～④の試合前に各パソコンへ配布する準備用ファイルです。
- 6) 前記の「4)」、「5)」は既に「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」が入力してありますが実際の試合用を作る場合ユーザーは「4 (5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名」などの操作方法により「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」を入力して準備して保存して置いてください。

準備したファイルを各パソコンに配布：

- 1) 試合当日予定の競技者が都合で出席できず代理人になるかも知れません。その時は氏名を元の参加者にするか余裕があるなら②～④ファイルの氏名を変更します。
- 2) 次は最終集計をするパソコンには先頭②ファイルの「XL_4R_No1. xlsx」を集計するため

に残しておき③の「XL_4R_No2.xlsx」と、④の「XL_4R_No3.xlsx」は残り2台のパソコンにファイルをUSBフラッシュメモリーに保存して1個宛て配布します。

- 3) ③、④集計を担当するパソコンでは<データ集計>は実行する必要はありませんので打数入力済めば直ぐ使用中PCのハードディスクに保存します。
- 4) 競技が進行、個別集計を担当する各パソコンではスコアカードを見てデータを入力して、4ラウンド全部が入力できた場合は使用中PCのハードディスクとUSBフラッシュメモリーに保存して最終集計用のパソコンに渡します。

各パソコンで分散集計後に最終集計用パソコンに回収しHDDに保存：

- 1) 最終集計用パソコンでは、先頭②のファイルに集計していた筈ですから集計後それを保存して一旦閉じます。
- 2) 上記「4」の其々入力済んだUSBフラッシュメモリーのデータを前「1」項の集計用パソコンの同じハードディスクに保存します。②～④の打数入力済みファイルが揃いました。分散集計配布用試合後フォルダには関係のない他のファイルは一切保存しないでください。(最終集計パソコンで「2」項の処理を実行した場合、関係のないファイルを一緒に取り込むからです。)

各パソコンから集めたデータをインポートし結合する：

- 1) 最終集計パソコンではExcelを起動して「ドキュメント」から「XL_4R_G分散集計サンプル」フォルダの中にある①の「XL_4R_分散集計試合30名.xlsx」を開きます。(この時開くファイルは先頭が「XL_4R」が付いているアドイングラウンドゴルフ用ファイルなら、②～④のファイル以外は何でもよいのです。先頭に「XL_4R」が付いた何かのアドインのグラウンドゴルフ集計用データを起動しないと「グラウンドゴルフ」タブが表示しないからでユーザーの競技集計用データをコピー&ペーストしたものでも、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」をコピー&ペーストしたものでも構いませんが、①で作ったものが利用し易いからです)。
- 2) 次に<GGファイル取り込み>をクリックします。
- 3) 「図 58 GGファイルの取り込み」の図が開きます。

前記「(1)参考」で記載の「毎回入力データ」・「集計入力データ」シートでコマンド「Noの記入」やコマンドラベル「調査」の中の各コマンドは「メンバー編集」シートを作る前の開発なので以下の項各で説明していますが、ほとんど使うことはありません。

『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックを入れて並べ替えができます。忘れても点数に影響はない上、「Noの列で昇順並べ替え」があります。<データ集計>の実行後に「毎回入力データ」シートでこれらの並べ替えを実行しても何の問題ありません。「注記1」)

- 4) 続けて<開く>ボタンを押すと「図 59 フォルダを選択」ダイアログボックスが開きます。

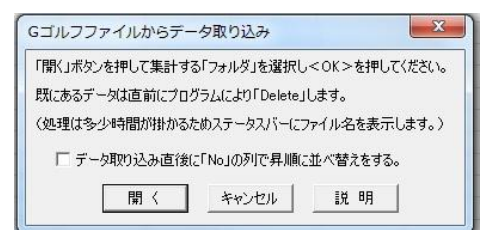


図 58 GGファイルの取り込み

5) 「ドキュメント」の「XL_4R_G 分散集計サンプル」フォルダの中にある「分散集計配布用試合後」フォルダ選択して<OK>ボタンを押します。(この時、フォルダは開くのではなく選択するだけです。)

6) ステータスバーに取り込み中のファイル名を表示し、このサンプル「X 分散集計配布用試合後」フォルダの場合はフォルダ内3個のファイルを一気に取り込みます。

注記1：『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックを入れている場合はプログラムが取り込み後「No」の順にならねばなりません。

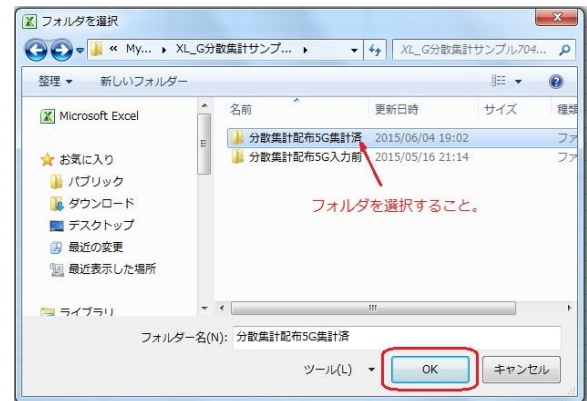


図 59 フォルダを選択

配布前に「分散集計配布用試合前」フォルダ内の②ファイル「XL_4R_No1.xlsx」、③の「XL_4R_No2.xlsx」、④の「XL_4R_No3.xlsx」。末尾の番号を「毎回入力データ」シートのNo順にと対応してファイル名の番号を振れば大丈夫です。試しに「分散集計配布用試合後」フォルダ内の②ファイル「XL_4R_No1.xlsx」を「XL_4R_No4.xlsx」などに替えてダイアログが表示したとき『データ取り込み直後に「No」の列で昇順に並べ替えをする。』にチェックをしないで<GG ファイル取り込み>を実行すると「毎回入力データ」シートに取り込んだ時にNo順が入れ替わることが分かります。

参考：「集計入力データ」シートで実行する場合は同シートを同じようにパソコン台数分に分割して保存し作業を分散してデータ入力ができます。わずらわしい場合「毎回入力データ」シートは非表示にしても構いません。

5 その他の機能について

前記「[4 \(1\) 参考](#)」で記載の「毎回入力データ」・「集計入力データ」シートでコマンド「No の記入」やコマンドラベル「調査」の中の各コマンドは「メンバー編集」シートを作る前の開発なので以下の項各で説明していますが、ほとんど使うことはありません。

(1) 新規開始／追加／変更

この機能は現在のバージョンでは使う必要がなくなりました。

「[4 \(5\)](#)「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む」を使用することが主体となり「メンバー編集」シートで No、GN、Start Hole、氏名を編集して取り込む方が簡単のためです。

<新規開始／追加／変更>について説明します。

- 1) 添付の「XL_4R_GG_同好会_2015_03_29.xlsx」を開いてください。
- 2) 「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートの場合<GG_4R>—<新規開始／追加／変更>を選択すると「[図 60 新規開始／追加／変更](#)」を表示します。この時、コマンドボタンは「追加変更」に黒丸が付いています。

- 3) 「説明」のボタンを押すと簡単な使用説明を表示します。
- 4) 「新規」ボタンをクリックしてこのボタンを黒丸にしてください。

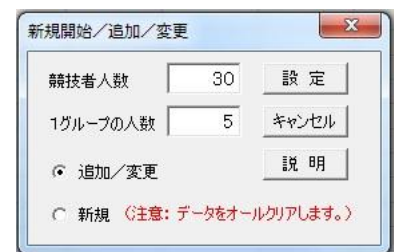


図 60 新規開始／追加／変更

- 「毎回入力データ」シートまたは「集計入力データ」シートでタイトル行から下を、行ボタンをドラッグして全行を削除した場合も「新規」ボタンで追加できます。(何れのシートでも、タイトル行を削除するとプログラムエラーになるため削除してはいけません)
- 5) 競技者人数の表示が同図では「30」、1 グループの人数は「6」と表示していますが、それは使用中の「毎回入力データ」シートの人数を読み取りその人数を表示します。
 - 6) 「1 グループの人数」とは「1 グループ」内のスコアカードの人数のことで、総人数が 30 人で、6 グループ作る場合は「 $30 \div 6$ 」で「5」と入力します。
 - 7) 次に設定ボタンを押すと No、GN 以外がきれいにクリアして新しい表ができます。
 - 8) 他のシートに切り替えると過去のデータがすべてクリアされて項目タイトル以外が真っ白になっています。
 - 9) 続けて試す場合は<新規開始／追加／変更>を選択し「[図 60 新規開始／追加／変更](#)」を表示し「新規」ボタンが黒丸になっていることを確認し「競技者人数」に「35」、「1 グループの人数」には「5」と入力し「設定」ボタンを押してください。

参考：GN（グループ番号）は数字以外のアルファベットなどを入力することは無効です。

新規の表を作る場合で「総人数÷グループ数」が割り切れない場合で何れかのグループの人数を減らす場合、多めの「競技者人数」と最大「1 グループの人数」を入れてシートに記入した後、氏名などのデータを入力する以前に、次の操作により削除できます。

削除する該当グループの行の、「A」列を右クリックして「[図 51 プレイヤーの追加・削除](#)」図を表示して、「行削除」ボタンを押します。この場合削除された行の「No」は先頭行から一発付け替えができます。

(グループ別のプレーをしない場合：「1 グループの人数」を入力しない場合で、シートの「GN」に番号が入力していない場合はシートの「グループ別集計表」シートと「グループ別のホールインワン順」シートには集計結果を無視して出力しません。表示している場合は過去のプレーがクリアしないで表示しています。)

グループ別の番号変更は「[図 60 新規開始／追加／変更](#)」により変更しますが、シートに入力後にグループ番号の必要が無くなった場合はシートの「GN」列を直接ドラッグして「Del」キーで消去が可能です。競技者人数は最高「1000」人までとします。

(2) 字幕と罫線引き

ツールボタンの「字幕と罫線引き」は「毎回入力データ」シート以外の字幕付きのシートの場合に字幕カラーとラインの再設定ができます。

- 1) 「毎回入力データ」シート以外のすべてのシートには前後の行と区別し易くするために字幕が付いています。
- 2) 字幕を付けるまたは行の削除などで字幕を付け直す必要が生じた場合、該当シートから「字幕と罫線引き」を押して、実行してください。
- 3) 「毎回入力データ」シートでは4行間隔で罫線が太線ですから付ける必要が無いので「字幕と罫線引き」は「影」の表示になります。
「グループ別集計表」でも使用できません。
その他、罫線などの乱れを修正する場合は「[\(5\) 書式の設定式の再入力](#)」を実行してください。

(3) No の記入

- 1) 「No の記入」をクリックすると「No」だけを上から振り直します。
- 2) 「No」付け替えをした場合、「GN」の付け替えは実行していません。

(4) No の列で昇順並べ替え

- 1) 「[4 \(26\) 3](#)」のようなとき使用します。
- 2) 「毎回入力データ」シートでは結合セルがあるため、Excel の標準機能で<データ(D)>—<並べ替え(S)>では並べ替えができません。
- 3) 「No の列で昇順並べ替え」をクリックすると「No」の列を元に昇順で並び替えができます。シートにエラーのカラーなどが付いている場合はカラーを消します。「[4 \(26\) 3](#)」で並べ替えを忘れた場合も有効です。

(5) 書式の設定式の再入力

「毎回入力データ」シートでは「M」列より右方向のすべてのセルに関数式が入っています。セルの関数式を保護するためにセルをクリックするとそのセルを「弾く」ため「1」セルだけクリックしたままにすると関数式を数式バーから見ることができます。これらのシートは他のセルを弾かないセルと一緒にセル上をドラッグして「Delete」すれば式が消えます。「データ集計」を実行した場合やダイアログボックスを表示して打数の入力

が済んだ場合に「セルへ転送」ボタンを押した場合、該当行に関数式を再設定しています。その他、関数式を自動で再設定する機能が有り操作は以下のようにします。

- 1) 「書式の設定式の再入力」を実行すると関数式を全行設定します。
- 2) 試す場合は「毎回入力データ」シートで「L」列より右方向のセルからU列までドラッグして「Delete」した後、上記の操作で式を入れセルをクリックしたままで「数式バー」を見れば入力する事が分かります。この場合「L」列の8ホール目のデータが消えます。「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を保存しないで一旦終了して再度開き直すか、＜書式の設定式の再入力＞を実行してください。

(6) データ入力漏れチェック

データの入力漏れをしたセルが有る場合は順位が変わるので入力漏れが無いチェックできます。

漏れがある場合はセルに「赤色」を付けるので必ず修正して、エラーがなくなるまで再実行をしてください。続けてエラーチェックする場合、エラーカラーの「赤色」はそのままでもプログラムが消してチェックを開始します。セルを修正するたびにエラーの赤色を消してチェックを確認したいと言う場合は赤色のセルを選択してExcel リボンのドロップリストから「塗りつぶしなし」を選択すればカラーが消えます。＜No または氏名の重複調査＞－＜データ入力行のカラーを消す＞によりカラーを消すことができます。

- 1) 操作方法は＜データ入力漏れチェック＞をクリックします。
- 2) 「[図 61 データ入力漏れチェック](#)」を開きます。

- 3) 文字と数字が入力されている列については、このダイアログボックスを開いた時点で、各項目のチェックボックスにチェックが付いているので処理が必要な項目をチェック「ON」にし、チェックの必要がない項目は「OFF」してください。(GN がすべての行で空白の場合は、このボックスを開いた時からチェックは消えています。)



図 61 データ入力漏れチェック

- 4) 上述したように空白がある場合「赤色」でカラーが付きエラー数を報告します。

(7) No 重複 空白調査

＜GG ファイル取り込み＞を実行した場合は、重複が無いかをチェックして置く必要があります。(重複が有る場合に「No の記入」を実行すると番号を順に付け替えるので重複が有った場合でも分かりません。)

(総人数で重複などは確認できるので必要な場合だけこの処理を使用してください)

- 1) ＜No 重複 空白調査＞をクリックします。
- 2) エラーがある場合、行全体が赤色になります。ダブっていると2倍の数になり行全体が赤色ですぐ分かります。
エラー数は報告しませんので最後の行まで確認してください。
- 3) エラーがある場合はシートの行を並べ替えてエラーの行を前後並べ、間違いがシート上

において一目で分かるようにして表示し、「図 62 No の重複メッセージ」を表示しますが、同ボックスのメッセージのように行を「並べ替え前の状態に戻しますか」と聞いて来ます。通常は<はい>をクリックして並べ替えを戻してください。

再度「No 重複 空白調査」を実行することもできるし、並べ替えを戻しても前後のカラーの行が離れるだけで「赤色」カラーは消えませんが元の場所の確認が出来ます。<いいえ>を押すと二度と戻す事はできません。

<いいえ>を押すのはこのエラーの調査目的ではなく、並べ替えを実行したい場合のために付けています。

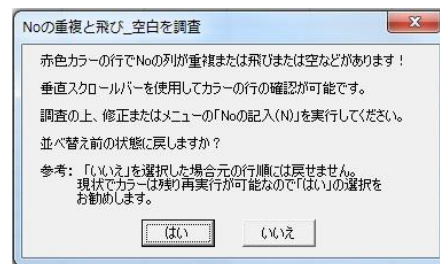


図 62 No の重複メッセージ

(8) 氏名の重複 空白調査

上記の「(7)No 重複 空白調査」と同様です。<氏名の重複 空白調査>を操作するには上記「(7)No 重複 空白調査」を氏名に置き換えてご理解ください。競技者多勢の場合は目では分かりにくいいためこの本機能を実行することをお勧めします。番号が付け変わっていても氏名でチェックできます。

(9) エラーカラー消去

字幕を消す場合または故意にエラーを起こした場合その他でデータ入力行全行のカラーが消えます。<データ入力行のカラーを消す>をクリックすると実行確認メッセージが表示するので<OK>ボタンを押します。

(10) 検索

「D 列」の「氏名」の文字列を検索する場合にだけ使用します。他の列は検索の必要が無いので検索をできなくしてあります。

- 1) 「グラウンドゴルフ」タブの「検索」をクリックします。
- 2) 「図 63 氏名の検索」のようなダイアログボックスが開きます。

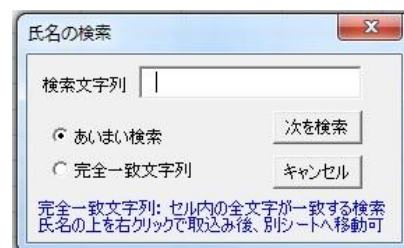


図 63 氏名の検索

- 3) コマンドボタンに「あいまい検索」と「完全一致文字列」ボタンがあります。それぞれの意味は次のとおりです。
 - a. 「あいまい検索」： 「セルの文字列の内で部分的に一致する文字だけ」を検索するという意味です。「性」だけを入力して次々に検索する場合に便利です。
 - b. 「完全一致文字列」： 「セル内すべての文字列が完全に一致」するものだけを検索する場合に使用します。「性名」両方を入力して完全に一致するものを探します。
- 4) 検索の試しをするので開いているすべてのファイルを閉じてサンプルファイル「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」を開いてください
- 5) 「毎回入力データ」シートから「検索」をクリックします。
- 6) コマンドボタンが「あいまい検索」になっていることを確認し文字列ボックスに「浜

崎」と入力します。

- 7) 「次を検索」 ボタンを押します。
- 8) 「88」 行の「浜崎 百合子」にカーソルが移動します。
- 9) 「浜崎」の性が2個以上ある場合は「次を検索」 ボタンで別の行のボタンを押すごとに検索できますがこのファイルには同性の氏名がありません。
- 10) 「次を検索」 ボタンを押す場合は、わずかに間を取ってあまり早く押さないようにします。(クリック間隔が短いと検索処理を実行できません)
- 11) 「次を検索」 ボタンを押した場合で複数の同じ文字列を検索した場合は検索が終了しました！ 「n」 個のデータを検索しました。と検索数を表示します。
- 12) 上記「11)」 項の場合で検索が終了すると次の検索が出来るように元の「氏名の検索」ダイアログボックスが開きます。試す場合は1文字で「小」または、「中」などを入力して試してみてください。これらは「小泉」、「小林」後者の例では「中川」、「中山」の性があります。
- 13) 「キャンセル」 ボタンを押せばダイアログボックスを閉じます。
- 14) 検索中にシート内のセルをクリックすると最初から検索がやり直しになるように作ってあります。
- 15) 「完全一致文字列検索」 では文字どおり「半角」、「全角」、「スペース」 などすべて完全に一致する文字列を検索する場合に使用します。
重複した「性」がたくさんある場合は名前まで入れると何度も「次を検索」 ボタンを押す必要が無く「一発検索」ができます。

「氏名の検索」にセル上の氏名を右クリックして取り込み順位を調査：

例えば「毎回入力データ」シートの「16」行で「No4」の「青木 真理子」を「点数順集計表」シートで何位かを調べる場合について説明します。

- 1) 「毎回入力データ」「グラウンドゴルフ」タブの「検索」をクリックします。
- 2) 「16」 行の氏名のセル「青木 真理子」を右クリックします。
- 3) 「氏名の検索」ダイアログボックスに「氏名」が取り込まれます。
- 4) 「点数順集計表」シートに切替た上で、「次を検索」 ボタンを押します。
- 5) 「9」 行の「青木 真理子」がアクティブセルになり「順位が」「5」位であることがわかります。そのまま別のシートに移動して同じ氏名をシートごとに調べる事も可能です。

6 その他このプログラムを使用する場合について

(1) 氏名の行を一行横に選択して分かり易く判別

順位を公表する場合などで印刷用紙を使用しないでパソコンの画面で順位の列から

「No」、「GN」、「Start Hole」、「氏名」を左に見る場合、字幕があるにもかかわらず見えづらい場合があります。

- 1) 上記の場合氏名よりも右側のセルまたは「GN」のセルを「右クリック」してください。

「図 64 シートの行を前後と区別して見易く表示」のように行をすべて横に選択して文字を反転しますので読み易くなります。特に順位番号のセルを右クリックすると氏名などの発表で便利です。

- 2) 「毎回入力データ」シートでは 4 行が反転します。

A B C				D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
1 点数順集計表																															
2 競技大会: 2015年03月29日(日)				グラウンドゴルフ同好会																											
3				1R			2R			3R			4R			Total			合計		ニア		順位								
4				No	GN	氏 名		実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打	実打	H1	2打	3打				
5				3	1	瀬山 秋子	22		4	2	20	1	2	5	25		3	1	17	3	1	4	84	4	10	12	72				
6				18	3	中川 由加里	19	1	4	2	19		5	3	21	1	2	4	19		5	3	78	2	16	12	72				
7				2	1	伊藤 紀江	29			5	19		5	3	22		3	4	14	3	4	1	84	3	12	13	75				
8				1	1	川岡 秀雄	23		2	5	23		2	5	23	1	1	4	16	2	4	2	85	3	9	16	76				
9				4	1	青木 真理子	24		2	4	21		3	5	19		6	1	17	1	5	2	81	1	16	12	78				
10				9	2	小泉 智恵子	20		4	4	23		3	3	21	1	2	4	21	1	2	4	85	2	11	15	79				
11				15	3	谷口 浜子	26			6	20		4	4	21	1	1	6	20	1	3	3	87	2	8	19	81				
12				26	5	野山 孝一	22		5		21	1	2	4	20		6		21		4	3	84	1	17	7	81				
13				10	2	小林 昭子	22		4	2	24		2	4	19		5	3	20	1	2	5	85	1	13	14	82				

図 64 シートの行を前後と区別して見易く表示

- 3) 「点数順集計表」シートから右のシートは、「W」列までなら、どのセルを右クリックしても一行を横に反転します。(大会で成績発表をする時のためです)
- 4) 薄黒く横一列に反転させたこの機能では、他のセルを左クリックすれば消えます。
- 5) 右クリックで横一列に反転するのはセルを選択しているので「Delete」キーなどを押すとデータが消えるので、そのような操作をしてはいけません。消す目的の場合はこの限りではありません。誤って操作した場合「元に戻す」ボタンが有効です。

(2) 印刷について

このプログラムは行数を固定した集計ではなく 1,000 名まで自由に人数が変更られます。

そのため印刷する場合は人数に応じて自由に設定変更してください。

印刷プレビューに移動した場合は「印刷プレビューの表示」ボタンを押してください。

「毎回入力データ」シートは行数が他のシートに比べて多いので人数に応じて縦、横の向きと余白、「拡大／縮小」の率 2% 前後上げ下げして見るなどの設定変更してください。

大きくは「毎回入力データ」シートと他のシートの 2 種類となります。大会前などで氏名より左の入力が終わっていて打数のデータが入力されていない場合でも＜集計＞を押すと他の集計シートに氏名を転記し、データが未入力のためその後でエラーは出ますが印刷するためのプレビューの確認はできるので事前に設定ができます。他の集計シートには氏名などのデータが残っていても集計時に自動クリアします。試合データを入力後に＜集計＞を押すと集計をします。これらの試しはサンプルデータでも確認ができますのでプレーの前によく確認して実行してください。

(3) 毎回入力データシートを使用しない場合

- 1) 「集計入力データ」シートを常用し「毎回入力データ」シートは使わないという場合は「毎回入力データ」シートを表示してデータが記されている範囲の4行～123行までの行ボタンの上をドラッグしてショートカットメニューを表示し＜削除(D)＞を押してください。非表示、または表示を戻す場合は次項の「(4)2」「(4)3」を参考にシート名を「毎回入力データ」シートに置き換えて解釈してください。

注意： 行ボタンの上をドラッグして表を削除した場合に再度利用する場合は「4 (5) 「毎回入力データ」または「集計入力データ」シートへ氏名などを取り込む」、「5 (1) 新規開始／追加／変更」、添付の「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29. xlsx」や個人用の過去の試合データやバックアップを利用するなどです。次項の「(4)」の「集計入力データ」シートの場合は「図 52 データ集計」の図を表示してチェックマークを付けて実行するなどの方法があります。行ボタンで表を削除する場合はご注意ください。

(4) 集計入力データシートを使用しない場合

- 1) 「毎回入力データ」シートを常用し「集計入力データ」シートは使わないという場合は「集計入力データ」シートを表示してデータが記されている範囲の5行～34行までの行ボタンの上をドラッグしてショートカットメニューを表示して＜削除(D)＞を押してください。非表示、表示を戻す場合は前項同様です。

非表示にする場合：

- 2) 「集計入力データ」シートのシート見出しの上で右クリックし＜非表示(H)＞をクリックします。

表示に戻す場合：

- 3) 「ホーム」タブの「セル」で＜書式＞を選択し[再表示]で＜表示/非表示(U)＞－＜シートの再表示(H)＞－[再表示]ダイアログボックスで「表示するシート(U)：」の「集計入力データ」を選択し＜OK＞をクリックします。

7 トラブルが起きた場合

(1) 全試合スコア集計タブのコマンドがシートで切り替わらない。その他のトラブル

- 1) ＜Alt＞－＜t＞－＜i＞の順にキーを押してください。
- 2) 「図 65 アドインダイアログ」の図を開くので「XL_4R_グラウンドゴルフ pg」のチェックを「OFF」にして無効化にしてください。
- 3) 同図の画面を閉じるので再度上記「1)」の操作をしてチェックを「ON」にして有効化してください。以上で初期化してメニューの修復をして起動します。

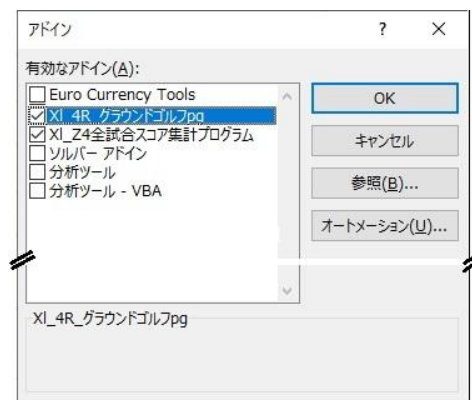


図 65 アドインダイアログ

(2) Excel を開くたびにファイルが見つからないメッセージを表示する

インストールが済んだ後で「XL_4R グラウンドゴルフ Pg. xlam」を「3 (4) アンインストール」を実行しないで手動で削除する、または「C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns」フォルダから別の場所へ変更する、ファイル名を変えるなどをした場合は「図 66 ファイルが見つからない」の図を表示して、この例は「Excel2021」の場合になります。

<OK>を押しても Excel を起動するたびに表示します。対処方法は次のとおりです。



図 66 ファイルが見つからない

対処方法 1：

- 1) 白紙の状態 Excel を開いてください。
- 2) <Alt> - <t> - <i> の順でキーを押します。
- 3) 「図 67 XL_4R グラウンドゴルフ Pg をリストから削除」の図の裏面側「アドイン」ダイアログが開きます。
- 4) 同図の①「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg」をチェック「OFF」にします。
- 5) 「アドイン ～～XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam が見つかりません。リストから削除しますか？」と表示します。
- 6) 同図の②<はい>を押すと「XL_4R グラウンドゴルフ Pg」が消えるので同図の③<OK>を押して終了です。
- 7) 以上で以後は表示しません。当然本プログラムは再度「3 (3) インストール」を実行しない限り使えません。

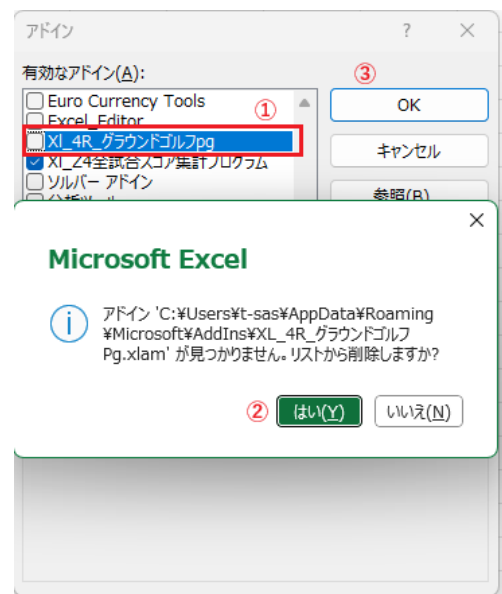


図 67 XL_4R グラウンドゴルフ Pg をリストから削除

対処方法 2：

- 1) 「3 (4) アンインストール」により「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を開きます。
- 2) 「図 15 アンインストール」の図が開くので<削除>を押します。
- 3) 「図 68 XL_4R グラウンドゴルフ Pg が見つかりません」の図が開きます。
- 4) 同図に書いてある操作方法是前



図 68 XL_4R グラウンドゴルフ Pg が見つかりません

項の「[対処方法 1 :](#)」の「[3](#)」の操作と同じになりますので同項以降をご覧ください。

8 データベース化した本プログラムの使い方要約

この説明は GG 同好会などの試合後に、添付した（「[図 8 配布ファイルの内容](#)」参照）次の 2 個のサンプルプログラムを使用して簡単にデータ取り込み集計する簡易説明です。

- ・ XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx → XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx
- ・ XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx → XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020.xlsx

ここでは上記の左側から右側のようにファイル名の日付を変更して試合データを作る説明をします。

(1) 新しい集計用ファイルを作る

（ユーザー用の運用フォルダの作り方は「[4 \(2\) ユーザー用第 1 回目の競技集計用ファイルを作る](#)」並びに「[4 \(3\) ユーザー用第 2 回目の競技以降の集計用ファイルを作る](#)」の項に記述）

- 1) エクスプローラーを開きます。または Excel の<ファイル>—<開く>—<ファイルを開く>からアクセスしても構いません。
- 2) ユーザー用フォルダ「[図 19 ユーザー用フォルダ構成](#)」の中に⑦「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」のように配布した試合サンプルをコピー&ペーストし、ファイル名の日付部分を試合日当日の日に変更します。

試合日が 2020/04/07 の例：XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx

- 3) 試合日を変更したファイルを開きます。
- 4) <日付競技大会名>をクリックしてください。
- 5) 「日付と競技大会の入力」が開きます。
- 6) 「西暦年月日」は本日の日付を表示するので「2020」年「04」月「07」日と入力して「Enter」キーを押してください。（2020 年です。間違えないようにしてください）
- 7) 「大会名」をフォーカスするので変更する場合は入力して「Enter」します。
変更がない場合はそのまま「Enter」キーを押します。
- 8) <保存>を押すと「保存の確認」が表示するので試合日：「2020/04/07」を確認して<OK>ボタンを押します。以上で「[2](#)」項の「GG 同好会全試合データ 2014」フォルダの中に「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07.xlsx」で試合集計用ファイルが出来ます。

(2) メンバーの試合順位構成する

（詳細は「[4 \(6\)](#)」「[4 \(8\)](#)」に記載）

- 1) 「メンバー編集」シートをクリックして移動してください。
- 2) 実際にはこのシートでメンバー順を構成しなければなりませんが既にサンプルが入力されており「[4 \(6\)](#)」「[4 \(8\)](#)」の項の説明を基に次項の「[3](#)」～「[7](#)」を入力したと仮定し、ここでは「[\(3\)1](#)」項に進んでください。
- 3) 氏名の I 列を下に範囲ドラッグして選択範囲枠の端をクリックして F 列にドラックし Ctrl キーを押して F 列へ貼り付けます。
- 4) D 列の氏名をすべて削除します。

- 5) <メンバー右クリック入力>コマンドをクリックすると同ダイアログが表示します。
- 6) 「F」列の氏名の上でスコアカードを見ながら順番に右クリックして書き出します。
- 7) 「A～D」列の記入がすべて終了した場合は次項に進んでください。
- 8) 「4 (8)」「メンバー編集」グループスタートホール編集」により「No」「GN」「Start Hole」を編集します。

(3) 「No」「GN」「Start Hole」「氏名」の取込

(詳細は「4 (5)」の項に記載)

- 1) 「毎回入力データ」シートをクリックしてください。
- 2) <氏名の取込>をクリックしてください。
- 3) 「メンバー編集」シートに切り替わり「氏名の取込」ダイアログボックスが開くので「全行取り込み」を選択して<OK>を押すと No、GN、Start Hole、氏名を取り込みます。

(4) 打数の入力と成績順位の集計

- 1) トップの「氏名」の上を右クリックして「データ入力」ダイアログを開きます。
- 2) 「試合打切」が初期値「4」になっているので試合するラウンド数にしてください。
- 3) 打数を4桁ずつ記憶して1Rの1H～8H入力し「実打」と「合計」を照合します。
(大会のように1ラウンドごと打数を入力する場合は「試合打切」は「0」です)
- 4) 2R、3R、4Rまで同じように入力し、「実打」、「合計」、「Total」の合計を照合します。
- 5) 全部の人数の入力が終わると全員の合計のみを再度照合します。
- 6) <データ集計>コマンドを押すと、「点数順集計表」シートに結果を表示します。
- 7) 「上書き保存」します。「上書き保存」をしていない場合は次の「9)」を実行した場合に保存確認のメッセージを表示します。
- 8) 「点数順表」を印刷する場合は同シートで<印刷>を押してください。
- 9) 本プログラムから「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020. xlsx」に移動する場合は「毎回入力データ」シートから<Z4 全試合スコア集計>コマンドアイコンをクリックすると自動的に<XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020. xlsx>が表示します。
但し、事前に「全試合スコア集計」フォルダの中に「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020. xlsx」を作っておく必要があります。

(5) XL_Z4_AR 全試合スコア集計プログラム

- 1) 前項「(4)9)」項で本プログラムが起動できます。
またはエクスプローラーから起動の場合は「全試合スコア集計」フォルダの中の「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020. xlsx」をダブルクリックしてください。
- 2) 「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2020. xlsx」を開きます。
- 3) 「年間全データ」シートで<最新競技取り込み>コマンド(アイコン)を押してください。「実行確認」が開くので<OK>を押すと各シートが集計されます。
- 4) 「上書き保存」をします。
- 5) 「年間・月間集計表」を印刷する場合は<印刷>コマンド(アイコン)を押してください。この他必要なシートがある場合は印刷してください。

参考：【重要なのは「XL_4R_GG_同好会_yyyy mm dd.xlsx」などの同年度の競技ファイルを「GG 同好会全試合データ 2020」フォルダ内にまとめて保存し、同じ同好会以外の他のファイル入れてはいけません】フォルダ構成は「図 17 ユーザー用フォルダの作り方」を参考にしてください。

9 バージョンの変更内容

Ver1.00～Ver10.00 までのバージョンについては省略します。

バージョンの見方は各シートにある「バージョン情報」をクリックすると「図 69 バージョン情報」の図が表示します。

(1) バージョンアップについての変更内容

1) Ver11.00 バージョンアップ変更内容。

- a. リボンのタブに変更しました。データはバージョンを前バージョン 10.00 に更新してあれば、そのまま使用できます。
- b. Excel64 ビットの動作に対応するため
「アンインストール」をした場合に「3 (4) 4」項でゴミ箱に入れていた「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」を完全削除とし「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」のバージョンアップをしました。
- c. Excel64 ビットに対応するため「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」のプログラムを修正しています。
- d. リボンのタブ方式に対応するため説明書を全面的に修正しています。

2) Ver11.01 バージョンアップ変更内容。

- a. Ver11.00 での修正漏れを補正しています。但し、11.00 による特に問題は起きていません。このバージョンではアンインストールとインストールをするだけで現用の試合ファイルを使用できます。
- b. スコアカードフォルダに添付の「ABC 地区対抗 GG スコアカード.xlsm」について This Workbook のインポートをわすれたために修正しました（不具合の内容は他の Book へ移動して戻った時タブが表示できないのと検索の右クリック入力ができない）。

3) Ver12.00 バージョンアップ変更内容。

- a. 本プログラムと共に添付の「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlam」において年度の途中から新規開設をした場合に「全試合スコア集計」でエラーが発生して集計できないという重大なバグがあることがわかりました。（但し、4 月、7 月、10 月から新規開始の場合は問題ありませんが、これ以外の月から開設の場合はエラーになります）ご使用の場合は事前に「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V5.02.*」説明書の「Ver5.02 バージョンアップ変更内容」に初期化して最初からデータを取込替えてからご使用くださいと記述してあるので最初に同説明をご覧になった上でご使用



図 69 バージョン情報

ください。

- b. このプログラム「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」では問題はありませんが、ベクターで掲載の「XL_4R_Ggolf*.zip」ファイルが本プログラムのバージョン番号で公開しているため本プログラムもバージョンアップしました。
ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。
- c. 作者のホームページで「説明書の重要な誤記と訂正」として公表していましたが「図 17 ユーザー用フォルダの作り方」で赤枠内の「添付ファイル」と「ユーザー用」の文字列が上下入れ替わっていましたので修正しています。ホームページの本項に関する文章はこのバージョンアップと共に削除いたします。
- d. 「グループ別集計表」シートで「Total」列の小計行に「エラーインジケータ」（緑色の左上セルに三角マーク）が出ると申告がありました。式に間違いはなく最終のグループも同じ式であるにもかかわらず同表示は出ないと言う矛盾が Microsoft 側にもありこのプログラムが開いている場合は＜オプション＞－＜数式＞－＜バックグラウンドでエラーチェックを行う＞をプログラムが OFF にするようにしました。初めから OFF の場合はそのままです。常にチェックをしている人はプログラムが終了すると「ON」に戻します。作者はこの機能が参考にならないために常に「OFF」にしていました。
- e. 「ホールインワン」が全ラウンドの試合で 1 個もない場合に「ホールインワン集計表」と、「グループ別のホールインワン順集計表」シートでエラーが発生していたバグを修正しました。

4) Ver12.01 バージョンアップ変更内容。

- a. 作者のホームページに掲載していたように Ver12.00 でベクターの公開に間に合わず次の公開日に回されました。次の公開日に同じバージョン番号で公開されるとご使用者が混乱するため Ver12.01 でベクターに差し替え申請したことによるものです。バグの修正内容は「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」でホールインワンが同一日の全ラウンドの試合で一人も出なかった日がある場合「ホールインワン集計表」シートより右のシートの集計でエラー内容： Cause：8100 と表示することが分かりました。このバグは点数順集計表などの順位に影響はありません。「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム. xlam」の集計にも影響しません。近い日にちでのバージョンアップで申し訳ありませんでした。

5) Ver12.02 バージョンアップ変更内容。

- a. 「毎回入力データシート」以外のシートで上書き保存ボタンを押した場合は各シートのカーソルをホーム位置に戻して後、「毎回入力データシート」を表示して終了できる体制になりますが、この時リボンのタブを「毎回入力データシート」用に切り替えできないで、元の表示のままだったので修正しました。ブックを閉じて次に使用する場合は正しく表示するので問題は無いのですが念のため修正しました。
- b. 本説明書で青い文字のリンクに異常があった部分やページに空白ができ部分などを修正しました。

6) Ver12.03 バージョンアップ変更内容。

- a. 本プログラムの変更はありませんが「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の Ver5.03 にバージョンアップしたことによってバージョン番号を Ver12.03 に更新しています。このため配布用プログラムの<XL_4R_G ゴルフ Add-inPG>—<グラウンドゴルフインストール・アンインストール>を実行し一旦旧ファイルを削除し再度、同プログラムを実行してインストールしてください。インストールの詳しい方法は「[3 \(5\)新バージョンに更新する場合](#)」に記載しています。バージョン番号の確認は「[9 バージョンの変更内容](#)」に記載しています。
- b. 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」はシートの変更があります。このため、本プログラムを既にご使用中のユーザーの場合はバージョンアップするシートを先に増やすなどの手順があるので「XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V700」をご覧ください
- c. 2024/03/01 に Ver12.03 を発行して、2024/05/14 には 本説明書の「[3 \(2\)インストール前の注意事項（重要）](#)」を追加修正しただけであってプログラムは変更していません。

7) Ver13.00 バージョンアップ変更内容。

- a. 「[図 20 日付と大会名の変更](#)」、 「[図 21 日付と競技大会名の入力_1](#)」の図で示すように日付の後に曜日を自動で表示するようにしました。
- b. 「[図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力](#)」図で「毎回入力データ」シートの最終行のメンバーにデータを入力する場合、<セルへ転送>ボタンを押すとシートへデータが入力されたにもかかわらずダイアログにデータが表示した状態で紛らわしいため最終行にデータが入力された場合はダイアログが閉じるように変更しました。
- c. 本プログラムから「XL_4R_GG_同好会_2015 03 29.xlsx」に移動する場合は「毎回入力データ」シートから<Z4 全試合スコア集計>コマンドアイコンをクリックすると自動的に<XL_Z4_AR 全試合スコア集計 2014.xlsx>が表示するようにしました。
- d. 「メンバー編集」シートで「メンバーシート書き出し」を実行すると「毎回入力データ」シートへ切り替わるバグを修正しました。
- e. 「メンバー編集」シート「スタートホール番号記入」で「表間ステップ数」が機能していなかったため修正しました。

8) Ver13.01 バージョンアップ変更内容。

- a. 「[図 19 ユーザー用フォルダ構成](#)」図で説明している⑦、⑩、⑪、⑫、のファイル名が「XL_4R_GG_同好会_2025 01 16 などのように日付が1～3月の間である場合に、これらの試合したデータを集計後、リボンのコマンド「Z4 全試合スコア集計」を押して「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 yyyy.xlsx」に移動しようとした場合エラーになるバグがあり修正しました。（このバグのためユーザーはファイル名「XL_Z4_AR 全試合スコア集計 yyyy.xlsx」を直接起動してしようする必要がありました）
- b. 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の変更はありませんので「全試合 Z4 スコア

集計インストール・アンインストール.xlsm」でバージョンアップする必要はありません。

9) Ver13.02 バージョンアップ変更内容。

- a. 「毎回入力データ」シートで「[図 46 「毎回入力データ」シート打数の入力](#)」を表示してすぐ、別の行のD列、氏名セルを右クリックすると「データ入力」ダイアログのカーソルが表示しないなどのバグが修正しました。この時「データ入力」ダイアログのセルをクリックして入力すれば入力には問題ありません。
- b. 「データ入力」ダイアログ「打数打切」で4打の場合の←↑↓のキーで移動に不具合があったのと集計入力データシートL1セルに記入しない不具合修正しました。
- c. コマンドアイコン「データ入力」をクリックした場合、氏名列以外のセルを選択していても氏名のセルに戻して表示するようにしました。
- d. 日付競技大会名入力で「[4 \(2\) 14](#)次に③の<OK>または<キャンセル>をクリックして「ファイルを選択」ダイアログを閉じます。」の部分で<OK>を押した場合に機能的には正常ですがエラー表示が出ていたので修正しました。<キャンセル>では問題ありません。
- e. 「[3 \(6\)](#)ユーザー用の試合集計用フォルダの作り方」～「[4 \(3\) 10](#)」まで、わかりにくい点があるため、すべて見直し変更や修正をしました。
- f. 今回のバージョンアップではシートの変更はありません。「[3 \(2\)](#)インストール前の注意事項 (重要)」と「[3 \(3\)](#)インストール」によりプログラムのバージョンアップをしてください。
- g. 「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム.xlsm」については変更していませんのでインストールしなくても現用のままで使えます。同説明書は誤字、抜け字、などを修正しています。

10) Ver13.03 バージョンアップ変更内容。

- a. 「毎回入力データ」シートでデータの入力が終わった後、リボンの「データ集計」コマンドを実行することを忘れて「Z4 全試合スコア集計」をクリックして起動した「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」で「最新競技取り込み」をクリックして計算処理をするという操作ミスの事例がありました。その場合は「点数順集計表」シートは「データ集計」が済んでいないため過去のデータが表示されており、そのデータを「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」に転送して正常ではない成績になります。これを防止するために「毎回入力データ」シートで「日付競技大会名」コマンドを押した時、「毎回入力データ」シートを含めそれより右方向のすべてのシートでは、タイトル行だけを表示して「データ集計」は未だ済んでいないことが、はっきり判るようにしました。それでも「Z4 全試合スコア集計」をクリックして「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」を実行した場合は「最新競技取り込み」をクリックしたときにメッセージを表示して計算処理をしないという形にしました。
- b. 前項の変更に絡めて「毎回入力データ」シートで「氏名の取込」を実行した場合は「データ入力」ダイアログが自動で開き、すぐにデータ入力ができるようにしまし

た。(これまでは氏名のセルを右クリックするか、または「データ入力」コマンドアイコンを押す必要がありました)

- c. 今回のバージョンアップではシートの変更はありません。「3 (2) インストール前の注意事項 (重要)」と「3 (3) インストール」によりプログラムのバージョンアップをしてください。

11) Ver13.04 バージョンアップ変更内容。

- a. Ver13.03 では「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を実行した場合にインストールができない問題が起きました。同ファイルの署名を設定し戻すのを忘れたためデバッグしたパソコンでは同じ署名で動作しますが、他のパソコンではインストールできない問題が起きて申し訳ありません。

「C:\Users¥ユーザー名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns¥」内に「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」を直接コピーすればインストールはできるのですが、無理な方があったと思います。

Ver13.03 をインストールできなかった方の場合には上記「9 (1) 10) Ver13.03 バージョンアップ変更内容。」の説明もご覧ください。

プログラムを運用する場合に「図 21 日付と競技大会名の入力_1」の図を実行した場合に過去と違って氏名の行がクリアしますが「氏名の取込」をした場合に「毎回入力データ」シートだけに氏名を取り込み「データ集計」をした場合に他のシートにも氏名の取り込みと集計がされます。「データ集計」を「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」で「データ集計」は未だ済んでいないことをメッセージで表示するためです。

- b. 本プログラムでは修正はないのですが、「XL_Z4_AR 全試合スコア集計*.xlsx」プログラムの修正のためにバージョン番号をアップしました。
- c. Ver13.03 の本説明書表紙の日付が4月にするべきところ5月に間違っていました。
- d. 今回のバージョンアップではシートの変更はありません。「3 (2) インストール前の注意事項 (重要)」と「3 (3) インストール」によりプログラムのバージョンアップをしてください。

12) Ver14.00 バージョンアップ変更内容

- a. 「C:\Users¥ユーザー名¥OneDrive」フォルダに配布の「XL_4R_G ゴルフ*」(*: バージョン番号)を保存し「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を実行した場合、OneDriveの「https://～～」のクラウドを参照してインストールができない事態があり、「グラウンドゴルフインストール・アンインストール.xlsm」を修正し、インストールを可能にしました。アドインプログラムの「XL_4R_グラウンドゴルフ Pg. xlam」はバージョン番号を変更しただけでプログラムの内容自体には変更ありません。
- b. 今回のバージョンアップではシートの変更はありません。「3 (2) インストール前の注意事項 (重要)」と「3 (3) インストール」によりプログラムのバージョンアップをしてください。

13) Ver14.01 バージョンアップ変更内容

- a. 「毎回入力データ」シートから<データ集計>を実行した場合に「点数順集計表」シートより右のシートにおいてタイトル行が2重に表示する（ゴースト）が生じるという事態が近頃発生しました。AIによると『Excel VBAの実行後にウィンドウ枠固定部分の表示が重複する現象は、Excelの描画の問題やウィンドウの再描画処理の遅延が原因で発生することが多い』ということでExcelの描画オブジェクトのバグということでした。
マウスのローラを前側または後方のわずかに廻してスクロールするとすぐに直ります。または、Excelを先に起動しておいて<開く>-<参照>-ファイル名を選択して取り込むとこの現象は発生しません。
しかし何とも感じが良くないのでこのバージョンでVBAを改良してこの問題を修正しました。同梱の「XL_Z4 全試合スコア集計プログラム」の変更はありませんので再インストールの必要はなく旧バージョンのまま使用できます。
- b. 「毎回入力データ」シートで「データ集計」を実行した場合に「点数順集計表」シートに切り替わったときリボンが「点数順集計表」切り替わらないバグの修正をしました。
- c. 「毎回入力データ」シートでデータが未入力の場合に「日付競技大会名入力」コマンドを実行するとタイトルが消去するバグ修正と同シートのタイトル行に中枠線を入れて見栄えをよくした。
- d. 「メンバー編集」シートで「スコアカードへ転記コマンド」を実行し、<データ転記>後にスコアカードへ転記ダイアログで<保存>を押して終了後、「大会スコアカード.xlsm」に保存して完全に終了した場合で「4 (2)6)」または「4 (2)10)」項で作った「XL_4R_GG_同好会_2020 04 07. xlsx」ファイルを閉じてない状態（「メンバー編集」シートなどが編集の状態）でエクスプローラーを開き同フォルダ内にできた「イベント用スコアカード」フォルダを削除しようとしてもパスが削除できないバグがあり修正しました。（「4 (15)13)」項の実行ができないバグ）
- e. 添付ファイルのフォルダに、説明書「3 (1)7)」「3 (1)14)」「XL_Z4 全試合スコア集計 PG フォルダに XL_Z4 全試合スコア集計説明書 V700. docx」を追加しました。このため Vector から本プログラムのダウンロードに少し時間がかかります。
- f. 「¥XL_4R_G ゴルフ 14.01¥スコアカード手書き用紙」フォルダの中にオリジナルのスコアカードを各種追加しました。本プログラム用に作られておりスコアを入力し易いように作ってあります。（これまでは作者ホームページでダウンロード出来ていたものです）
- g. 本説明書で分かりにくい部分の説明の補足、図の入れ替えなど、大きく修正しました。
- h. 「Readme.txt」に記載のように E-Mail: アドレスを変更しました。

1 0 拡張子の説明

(1) 拡張子について

1) ファイル名の例

「XL_4R 同好会 yyyy mm dd.xlsx」(この場合「xlsx」が拡張子です)

ファイル名の最後に表示する「.」から右側に表示した文字列で、ファイルの種類または形式を識別する目的です Excel2000～2003 では「xls」、Excel2007 以降のバージョンの場合は「xlsx」となります。

Word2000～2003 の場合は「doc」 Word2007 以降では「docx」となります。

Excel2007 以降で、「GG_同好会メンバー2014 年度.xlsm」のようにマクロを含む場合は「xlsm」となります。

(2) Windows10 の拡張子の表示方法：

- 1) エクスプローラーを開きトップの<表示>タブを選択します。
- 2) <オプション>を選択します。
- 3) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 4) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。

(3) Windows11 の拡張子の表示方法：

- 1) エクスプローラーを開きトップの「…」をクリックして<オプション>を選択します。
- 2) 「フォルダーオプション」が表示するのでトップの<表示>をクリックします。
- 3) 「詳細設定」ボックスから「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」をクリックします。